

令和元年第3回今帰仁村議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和元年9月6日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 散 会 日 時 及 び 宣 告	開 議	9月11日 午前10時00分		
	散 会	9月11日 午後5時53分		
出 席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	島 袋 誠	8	與 那 勝 治
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
	3	與那嶺 透		
	4	座間味 薫	11	嘉 陽 崇
	5	座間味 邦 昭		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠 席（不応招）議員	10	與 儀 常 次		
会 議 録 署 名 議 員	3	與那嶺 透	11	嘉 陽 崇
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	我那覇 尚 一	書 記	松 田 洋 子
	局 長 補 佐 兼 議 事 係 長	玉 城 民 枝		
地方自治法第121条に より説明のため議場に 出席した者の職氏名	村 長	喜屋武 治 樹	経 済 課 長	久 田 哲 史
	副 村 長	謝 花 良 竹	住 民 課 長	仲 村 美奈子
	教 育 長	玉 城 奎	福祉保健課長	宮 里 政 有
	総 務 課 長	我那覇 隆 文	幼 保 連 携 推 進 室 長	宮 里 晃
	企画財政課長	田 港 朝 津	会 計 管 理 者	金 城 寛 樹
	学校教育課長	桃 原 秀 樹	総 務 課 補 佐 兼 総 務 係 長	新 里 久 夫
	社会教育課長	嘉 陽 健		
	建 設 課 長 兼 水 道 課 長	嶺 井 雄 二		

令和元年第3回今帰仁村議会定例会

議事日程第2号

令和元年9月11日（水曜日）

1. 開 議 午前10時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		会議録署名議員の追加指名	
2		一般質問	

○ 座間味 薫 議長 ただいまの出席議員は10名です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

(開議時刻 午前10時00分)

日程第1. 「会議録署名議員の追加指名」を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、10番 與儀常次議員及び11番 嘉陽崇議員を指名いたしておりましたけれども、與儀常次議員が都合により欠席しております。3番與那嶺透議員を追加指名いたします。

日程第2. 「一般質問」を行います。

順次、発言を許します。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 令和元年第3回定例会に当たり、先に通告しました一般質問を行います。

質問事項1. 梯梧荘跡地売却後の進捗状況について。

去る平成31年1月28日の臨時会において、村有地である梯梧荘跡地の土地処分が可決されました。村とTONYカンパニー合同会社で結ばれた協定書によると、第2条で「事業計画概要書」及び「コンセプトシート」に基づき、ホテル事業を実施すること。第3条でホテル事業を平成33年7月を目標に開始すること。とありますが、現在の進捗状況はどうなっているか伺います。

質問事項2. 国保について。

国民健康保険税率・税額の改正に対する村民への周知はどのように行われたのか、詳細な説明を求めます。

質問事項3. 庁舎建設について。

今現在の進捗状況や今後のタイムスケジュールについて、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 皆さん、おはようございます。8番與那勝治議員の質問事項1. 梯梧荘跡地売却後の進捗状況について、お答えいたします。

質問要旨の梯梧荘跡地については、平成31年1月28日の議会の可決によって、契約書の効力が生じ、契約金の納付を平成31年2月28日までとしました。

平成31年2月28日に入金を確認し、登記に係る手続きを行い、平成31年4月19日に所有権移転登記を完了しました。

ホテル事業の進捗については、令和元年7月19日に事業者から代表者変更の報告を受けています。事業計画については、村との協定に基づき実施していくことを確認しています。事業計画の基本設計やホテル事業運営等の詳細が決まり次第、地元説明会を開きたいとの申し出がありました。当面の計画はことし12月末までに既存建物の取り壊しを予定しているとのこと。

質問要旨2. 国保について、お答えします。

質問要旨の国民健康保険税率・税額の改正に対する村民への周知については、5月から各公民館を訪問し、区長へ説明会の持ち方について意見を聞きました。

また、6月の広報なきじんと村ホームページに掲載して周知を図り、7月には対象全世帯へ郵送にて通

知、7月24日に今帰仁村コミュニティセンターにおいて説明会を開催しました。しかし、出席者が少なく、役場窓口で随時説明を行っているところです。

質問事項3. 庁舎建設の進捗状況や今後のタイムスケジュールについて、お答えします。

現在、庁舎建設に向けては基本構想策定中であり、庁舎建設委員会、内部庁議においても議論しているところです。本年11月をめどに基本構想から基本設計準備に入る予定であります。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 質問事項1から質問していきます。答弁によると平成31年2月28日に入金を確認し、登記に係る手続を行い、平成31年4月19日に所有権移転登記を完了しました。とありました。これは平成31年4月19日時点で、代表者がかわっているというのもあるんですけども、その時点で把握していたかどうか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 8番與那勝治議員の質問について、説明いたします。

梯梧荘の手続につきまして、4月19日時点で確認をされたかということでございますが、先ほど村長のほうからも答弁がありましたとおり、7月19日に事業者の訪問がございました。その前に電話連絡でたしか1週間くらい前だったと思いますが、電話連絡で代表者がかわりましたとの一報がありまして、それで挨拶に行きますという連絡でありましたので、最初に確認したのがその7月19日の数日前でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これ所有権移転登記を完了したんですよね。これ登記簿とかに代表者を変更したというのは載っていなかったんですか。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

土地の登記簿や建物の登記簿については、会社の所有者名といいますか。会社名のみになりますので、代表者名は載ってこないもので、そちらのほうは確認がとれておりませんでした。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 確認がとれていないということでありました。

代表者7月17日ですか、この辺、登記されたものによると、7月17日には登記されていて、2月28日に代表者が既にかわっているという状況でありました。

前回去る6月議会で、1番議員がこの現在の動き、動向ということで質問して、その際にこの代表者がかわったという旨がなかったものですから、これは日づけ等を今、確認させていただきました。この答弁書の中で、この基本設計、ホテル事業運営等の詳細が決まり次第、地元説明会を開きたいとの申し出があり、そして当面の計画はことし12月末までに既存建物の取り壊しを予定している。という答弁でありますけれども、この状況、取り壊し、12月末までに取り壊しというこの状況で、この協定書どおり進んでいると考えるのかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

この梯梧荘の売り払いにかかります落札業者といたしますか。TONYカンパニーにつきましては、そのホテル事業を運営していくということで、予定としては平成33年7月開始を目標としたいということで調整してきたわけなんです、これまでの説明の中では今年度内に取り壊しはしたいという説明がございました。その取り壊しに先だって、アスベスト調査などを行って、取り壊しを行うんですが、このアスベスト調査を行うための事業者が見つからないという説明までは受けていたところでございます。そういった予定と、この建設需要の中では、そういうスケジュール的なものはおくれが生じていると考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これは今、現在このアスベストを調査する業者というのは、探しているという状況なのか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

事業者のほうを探しているということを、伺っております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この答弁書ですけれども、事業計画については、村との協定に基づき実施していくことを確認しているとありました。これは今現在、課長の答弁からでも、おくられている状況というのは把握できていると思いますけれども、これは前副村長の答弁の中で、万が一、予定どおり進んでいないということであれば、これは約束でありますので、これに基づいてきちんと行政指導等を行って、きちんと進めてくださいということを強く申し入れていくことになるとおっしゃっていたんですけれども、これは行政指導とか、そういうのは行ったのかどうか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

行政指導等という形ではございませんが、当初の目的でありますホテル事業を運営するということの確認と、それと代表者がかわったわけなんです、取り壊しが必要であると。当初既存建物のリニューアルのお話もございましたが、その確認の中ではやはり取り壊しをして、新設のホテルをつくるということをして7月時点で確認をしている状況でございます。事業者としては、ホテル事業を実施していくということと、それとTONYカンパニーとタイアップをする企業の名前も出しておりましたので、その事業計画は、確実に進んでいると思われることから、特別行政指導を行う段階ではないのかなと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これは大事な臨時会の中で、副村長が先ほども言いましたけれども、「万が一、予定どおり進んでいないということであれば、行政指導する」と、答弁しているんです。この辺の答弁を含めて我々は判断をしますので、これは万が一が起こっているじゃないですか。これは行政指導の対象ですよ。どう考えているか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

さきの臨時会において説明された「万が一」の状況でございますが、それは想定としては、所有権は移

転した、何の動きも見えない中で、ホテル事業の計画が進んでいないところが、万が一の状態ではないかと考えております。今現在は、所有者といいますか。TONYカンパニーにおいては、タイアップする企業と、その後タイアップする企業からも調査を、現場の確認と状況の確認が来ておりましたので、そのホテル事業については、当初の予定よりは多少おくれてはおりますけれども、進んでいるものと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 協定書これで第3条、前条のホテル事業、平成33年7月を目標に開始する。と書いてあるんです。それに基づいて、「万が一、予定どおり進んでいなければ…」と、村長も答弁しているんですよ。これ万が一が起こっているじゃないですか、今。これは行政指導対象だと思うんですけども、この辺の説明を再度求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

この行政指導、先ほども説明したと思いますが、行政指導というのは、その建設事業、県内の建設事業やその工事会社の人員不足等でいろんな工事現場において、おくれが出ているのはご存じかと思いますが、それも含めて企業の対応のまずさによっておくれているということではなくて、企業としてはその事業の実施に向けて動いている状況でございますので、行政指導には当たらないと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この協定書で3条の、「平成33年7月を目標に開始する」これはもう最初から違っているじゃないですか。何の協定書なんですか、これは。これ協定書どおり進んでいるか、進んでないか。この辺を我々議会の中で担保がとれるかとれないかの話の中で、ここも説明しているわけです。議決された後に、これは行政指導に値しないとか。これはもう当局が言う答弁はもう信用できないじゃないですか、こういうことを言っていたら。しっかり行政指導すると言いきれないんですか。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

この協定書の3条にあります事業開始目標でございますが、そちらのほうでそれがおくれることによって行政指導が必要ではないか、ということではあるんですけども、現在、企業としては、その事業実施に向けて動いている状況でございますので、それが事業をやらないとか、何も動きが見えないという状況であれば、行政指導という強い要請が必要なのかなとは思いますが、令和3年の7月の開始に向けて、努力してくださいという調整程度はできるのかなと考えております。

行政指導という強い指導というのは、まだ現段階ではその段階ではないのかなと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 それでは、課長が今のこの状況の中で、いつ開始できると思いますか。何年。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

先ほどの村長のほうから説明がありましたとおり、詳しい設計はこれからでございますので、その設計

ができ上がった段階で具体的な工期も決まってくると考えておりますので、そういったものが明らかでない、明確でないで、今その平成33年を守れるか。守れないのかということについては、私のほうから答弁できる状況ではございません。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これ平成33年7月、100億規模のホテルをつくるとしたら、これは確実に無理じゃないですか。もう協定書に反していますよ、これは。自分はこれは指導対象だと思っています。課長が「対象じゃない」というのであれば、対象じゃないのか。だけどこの協定書どおりにいくということで万が一、おくれた場合には行政指導していくと、村長も答弁しています。これに基づいて、議会の議決もしていますので、この辺は進んでいるからではなくて、もっともっと強く言ってくださいよ。これは強く申し上げていきたいと思います。

代表は今、かわっていますけれども、これは当初代表だった宇良氏から秋吉氏にかわりました。この秋吉氏にかわった際に、我々スタッフの中でもっとも銀行、建築、経営に強い秋吉氏を代表に変更し、予算の確保を行うと説明がありました。説明があった際に、秋吉氏がこういろいろと動いてくれるものだと思っていたんですけれども、これ登記簿を見る限り、2月28日に代表者かわっているんです。ご存じだと思うんですけれども、2月28日といったら金額が支払われた日ですよ。これを見る限り、推測でしかないんですけれども、2月28日にこの株式会社、新しい代表者が支払いをしているという形になると思います。当初この当局にもいろいろと来てくれた秋吉氏ですね。この人はどういう存在なのか。TONYカンパニーの社員なのか、役員なのか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

この前TONYカンパニーの代表社員の方については、企業買収という説明が現代表者からありまして、会社役員をそっくりかえましたという報告を受けています。現在は、この前代表者は役員から外れている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 企業買収されたと。これは臨時会の中で、この秋吉さんもいろいろと説明も来て、議会にも来てくれて、この説明の中で、私どもは今帰仁村とともに共生の精神で発展していきたいと思っていますと。議会承認の暁には、誠心誠意頑張ってまいる次第であります。と言っているんですよ。それが可決されたら、もう買収ですか。この人たちの言葉を信じて、100億円の事業をするといって、それで議会では割れて、割れながらも可決に持っていったと。もう期待しているんです。この梯梧荘跡地に対しても、期待しているところに対して、可決されて、何もしないうちにもうM&Aが行われたと。これは到底納得できるところでもない。再度ですけれども、この新しい代表、この株式会社ODC、これはどういう会社なのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

新しくTONYカンパニーの代表者になっています方は、株式会社ODCの代表取締役もやっている方

で、主には宅建取引、不動産業、それと宿泊業も一部やっていると伺っていますが、この宿泊業をどこでやっているかはまだ確認をとっていないところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 内容、目的とか言ってくれたんですけども、これは登記簿見る限り、ホテル事業、旅館業とか、そういうのは書かれていないんですよ。書かれていないところにM&Aが行われて、これ梯梧荘跡地、今後どうなっていくのか。本当に心配ですけども。

この株式会社ODC、先ほど提携してくれる会社があるとか何とか言っていましたけれども、これホテル事業は進みそうですか。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

この会社につきましては、ビルと建物を所有していて、その運営、ホテル等の運営、宿泊業の運営に関してはまた別の会社がやってきているという説明を受けました。その中で今回、梯梧荘の跡地については、本土の大手企業の紹介といいますか。その事業者とタイアップをしていくという説明を受けておりまして、県内でもホテル事業を展開している事業者でございますが、実際に梯梧荘の跡地もごらんになって、村のほうに調整にも来ている状況でございますので、その会社が現在のTONYカンパニーと協力をして事業をやってくれることに期待をしているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 本土の大手とおっしゃっていました。これ具体的にどこというのは示せないんですか。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

その会社の名前を出していいかどうかというのは、また今その企業に対して確認をとっておりませんので、この場で企業の名前を出すのは控えたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 控えるということは、まだ決まっていないということなんですか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

決まっていないという、現在のTONYカンパニーの代表者からは提携しますということで紹介を受けて、その後この企業が調査に来ておりますので、実際にこの会社が「やります」という言葉はまだいただいておりますので、決まったか決まっていないかという、まだ未定、不確定な部分があると考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 まだ未確定ということでありましたけど、これは今までいろんな方々からも質疑、質問されてきた案件でありますけれども、その中の答弁の中で、転売禁止条項の説明というのものあ

りました。M&Aは、転売に当たらないかと思いますが、これ応札者の中に、不動産業者の介入はできる限り阻止したいという気持ちで、転売禁止条項をつけた。落札後、即転売が可能になれば、転売目的の入札が行われ、その結果、完工事業がいつまでも行われないうまま、所有権がころころ変わってしまうことが危惧されるため、10年の転売禁止条項をつけている。という説明がありましたけど、これ現実を見てみると、転売ではないんですけれども、M&Aですけれども、これは当初の村が「来てほしい」と思うような、村が求めるような会社ではないと思います。議会が議決をして、支払いはまだ違う会社が行って、そしてまた違う会社が出てくると。ある意味、転売じゃないですか。

今のこの状況を、当局はどう捉えているか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時27分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時28分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

現在の状況をどうするかということでございますが、まずは先ほどから話がありますが、まだ具体的な設計ができていないという状況がございますが、設計の状況からどのぐらい進んでいるのか。またそのタイアップする企業との状況がどうなのかというところを事業者の説明を求めていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 私が言いたいのは、転売を危惧して、10年間の転売禁止条項をつけた。そして入札を行ったわけです。これ入札をするときにも、我々議会の中からも、これ会社ごと売られますよという話はしたつもりなんです。けどそういう答弁もなく、実際に今行われているじゃないですか。M&A、我々が危惧したことも。この状況をどう捉えるかと言っているんですよ。説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 企業買収につきましては、どのような会社が来ても起こり得ることでございますので、まずは梯梧荘の跡地を入札にかけた段階では、不動産事業者ではなく、ホテル事業者が実際に運営する会社として、入札をやっていただきたいという思いで、そのような条件をつけたところでございます。現在、もともとは不動産事業者がその会社の代表者にかわっている状況でございますが、ただ実際にホテル事業を行う会社と調整をされているという状況がございますので、そこは実際にホテル運営、宿泊事業を行うところとして、梯梧荘跡地の有効利用が図られることを期待しているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 そしたらこの会社、どの辺まで、どこまで村が携わって一緒に調査とか、その辺できているのか。現在のこの進捗状況について答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

実際にホテル事業を行う会社としましては8月22日に来村をしております、梯梧荘の状況を確認しているという状況でございます。その中で文化財の状況やその他の景観条例の確認をされたと同っており

ます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これは村当局も一緒に現場を見たということになりますか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

現場の確認は事業者といいますか、村が一緒にということではなくて、企業が個別に、その状況は確認してきたと伺っております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この間、一般質問をする間にも、いろいろと情報が入ってきまして、自分も商工会のつながりで、東京の方から情報が入ったんですよ。「今帰仁村の土地が売られている」ということで情報が入って、これの番地を聞いてみたら字与那嶺1255番地、まさしく梯梧荘跡地だったんです。これは梯梧荘跡地、東京の方、沖縄出身じゃないですよ。東京の方が東京のこの会社にこういう情報が出回っているんですよ。この住所、この場所が、これはこの事態、売りに出されていると。そういうことを把握されているかどうか。村当局として説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

その梯梧荘跡地が売りに出ているという情報は、企画財政課のほうでは受けたことがございません。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 土地というよりも、内容としてはM&Aでした。現場を確認するのは、村はタッチしていないと。業者だけで現場を見に行っているという説明でありました。これはいろいろとびっこりすることも書かれていたんですけども、一つ一つ確認させていただきたいことがあります。M&Aの案件の中、同意事項というのは、村との同意事項というものがあまして、この同意事項の1の中に、土地開発法に基づき、土地利用計画を今帰仁村に提出し、土地の開発許可を確認した。この土地に関しては、用途を問わず開発してよい趣旨の基準を全てクリアしている。今帰仁村は建ぺい率60%以外の規制はかけていないというふうに、同意事項の1としてあるんですけども、この辺の事実はどうなっているのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

土地についての開発許可というのは、受けている状況ではございません。まず土地の規制については、議会のほうでも説明しましたが、地下のほうに文化財がありますので、まずはその文化財の取り扱いであつたり、その文化財のところにホテルを建てるのであれば、それだけの発掘費用が発生しますよということで、入札を行ってきておりますので、事実と異なる状況があると考えています。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 一つずつ聞いていきます。この中の同意事項4の中では、ビーチに面する国有地の雑木、この特別な植物ではなく、雑木の扱いであり、伐採は可能というふうにあるんですけども、

この事実関係はどうなっていますか。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

その同意事項自体を村は知りませんので、それを見ながら説明が必要なのか。まずこの梯梧荘跡地について、議員の皆様ご承知のとおり、土地を売り渡しただけでありまして、その他の許認可は一切今後の状況でございますので、その同意事項の一つ一つが事実と異なると考えられます。

同意事項自体が村として梯梧荘跡地の土地利用に係る同意をしている状況でございませんので、同意事項があるということ自体が私にとってはちょっと不思議な状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 そうであると思うんですけども、一つ一つ今ちょっと確認したいんですよ。だからこの雑木扱いなのか。これは伐採できるのか、できないのか。「できる」「できない」、それで説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

国有地は以前は里道や水路は国有地として、国が管理をしておりました。平成16年か17年になるかと思いますが、里道水路の取り扱いについては市町村が管理するようになっております。現在の国有地というのは、海上面、海岸線まで地籍がございますが、この海岸の地籍の外側、海側のほうが国有地と理解できると思いますが、そちらのほうの伐採の許認可は村が与えられる立場でございませんので、そういう同意が成り立つものではございません。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 このビーチに面する国有地の雑木、これは伐採可能なのかどうなのか。この辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

そのビーチに雑木があるかどうかは今、理解できないんですが、ビーチ沿いに村有地で保安林は確かにございますが、そちらは絶対に手をかけてはいけないものだと考えております。

保安林でございますので、保安林の育成のためには触ることができますけれども、保安林をその他の目的をするために触ることはできない状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 もう一つ、疑問に思う同意事項がありましたので、同意事項の5の中で道路についてでありましたけれども、バスの入れる程度の道路拡張は既に決定している。代償用地と雑木の国有地の間にある道、これはなくして等価交換することを今帰仁村と話をしているというふうにありましたけれども、この事実関係はどうなっているか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時39分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時40分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

村道については、拡張工事を予定してしまして、与那嶺区の慰霊塔のほうから梯梧荘入り口のほうまでの村道事業として予定はしております。議員の質問の中にありました道路の拡張、代替の話でございますが、一度だけ企業からそういう保安林沿いの道路をつけかえることが可能かどうかという口頭での問い合わせはございましたが、それはかなり困難な状況だと思いますよということで、回答した覚えはあります。

等価交換の話はございます。つけかえということの話の照会は一回ありました。問い合わせは一回ありましたが、それができると回答した覚えはございません。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この道が等価交換できるかどうか。その辺はどうか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

この道路についての等価交換はできないものと理解しております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 自分はこれを見て、ちょっとびっくりして、村はこういう同意をしたつもりもないし、自分らも聞いたこともない。まさしく知らないところで、これはかなり拡散されていますよという話でもありました。もしかしたら役場に問い合わせが来ているのかと思って、このような質問をさせてもらっているんですけども、これは事実と異なる。そういうことが広まって、これが当たり前と思って、もしかしたら来ているかもしれません。この前の業者だって、業者だけで現場を確認しているはずなので。そこでもう村と同意されているから、勝手に計画を進められる可能性だってあるわけです。これは一般質問を終った後に、この資料は提供したいと思うんですけども、これは事実と反すること。これがもう広まっているわけです。これはどうにかこう法的措置を含めて、準備されたほうが自分はいいのかなと思っています。これは自分の一般質問が終って後、資料提供しますので、これまた後で確認していただきたいと思います。

そもそもこういうことが起きています。もちろん当初から我々も本当に懸念したんですよ。こういうことが起こると。最初に言いました。法に反するようなことがあったら、後々訴えればいいのか。そういう話をしていましたけれども、法で訴えてやる労力というんですか。そのほうが大変なんです。そうであるんだったら、最初からこの入札に参加させなければいいというふうにはしか思わないんですよ、自分らは。これは当初から言っていて、入ってきたときは「これは転売されますよ」と。「そういう会社ですよ」と実績も何もない会社なんです。これがわざわざあんな高い金を出して来るということは、最初から転売目的じゃないですか。村はなぜこれを許したのか。この辺は今になっても本当に疑問に思うんですよ。この説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

臨時会において可決していただきましたが、その時点でもう入札まで至った経緯も説明してきておりま

すけれども、入札においてはそのホテル事業を実際に行う予定であるものも含めて、申し込んでいただくというスタートラインがございますので、その中ではTONYカンパニーが入札申し込みしたときにおいて、ホテル事業を実施していくという意思表示がございましたので、その入札に申し込みをされた会社は、この入札の権利を与えたという状況でございます。その時点で入札における準備すべきものや、この計画書であつたりというのは、全てクリアされておりましたので、その時点では何ら瑕疵がなかったと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 瑕疵はなかったかもしれませんが。ただ入札に参加させる。これは参加資格審査委員会とか、そういうのも設けていないとあつたんですけれども、その際に、専門部会を開いてという話もありました。この専門部会というのは、どのようなメンバーでどのような会議が行われるのか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時45分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時46分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

今帰仁村公有財産運用委員会、梯梧荘跡地利用専門部会でございますが、そちらのほうの委員として、総務課長、企画財政課長、企画財政課において公有財産管理を担当する者。それから住民課長、経済課長、建設課長、建設課において景観業務を担当する者、それから社会教育課長、社会教育課において文化財を担当する者、その他部会長が必要と認めるものとしております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 結果論となるんですけれども、専門部会というからには、入札に関する専門とか、たけた人が一人でもいたら、この辺すぐにわかったはずなんです。「転売目的の会社ですよ」とか、いろんなアドバイスをもらえたはずなんですけれども、この辺ができなかった。これは本当に残念に思うんですけれども、今後こういう案件があつた場合、専門部会を開くのであれば、民間も活用していいと思いますけれども、その辺の見解を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時48分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時48分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

先ほどの専門部会の委員の最後のほうにありましたが、「その他部会長が必要と認める者」ということがございますので、またそういった入札にかかる時点で、必要があればその委員長が認めるものの中で、その民間の専門業者を入れることは可能だと考えておりますので、その時点で検討していきたいと考えます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 その時点で検討すると、今このような状況が起きていますので、その時点で

検討するのではなく、もう民間の方を活用する、これはぜひ明言していただきたいと思います。

我々の疑問の発端でもありましたこの入札制度、入札による売却方法、これ改めて売却方法をプロポーザル方式から入札にかえた、この理由、変更した理由を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

プロポーザル方式から入札方式にかえた理由でございますが、梯梧荘の閉鎖に伴って、この跡地を村のほうで購入いたしました。またその保養所として梯梧荘を有効活用していただくために、企業によってプロポーザルを受けて、2回やりましたが、当初の選定企業も事業実施に至らず、2回目のほうの事業も実施に至らずという状況でございました。その中で2回のプロポーザルが企業が実際に実施することができませんでしたので、実際にホテル事業を行っているか、また新たにやるところも含めて入札方式にしたほうがいいのではないかという議論の中で、入札方式を取り入れた状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 早くホテル事業が進むためにも、入札を行ったと。入札に変更したという前にも説明がありましたけれども、これは入札で今回、梯梧荘は売却されましたけれども、早くホテル事業が進むと思われるかどうか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

これまでプロポーザルで行った中では、やはり企業に確認したところ、文化財の調査費とその文化財の調査がどのぐらいの期間を要するかというところが、この企業が実施に至らなかった要因だと伺っております。今回の入札につきましては、その文化財を調査する費用や期間まではありませんでしたが、文化財の調査を行う費用等も先に提示をして入札をしたわけでございます。それでも入札を行える、ホテル事業を行えるという会社のほうの入札を期待してのこの方式の変更でございました。ですので実際に、今後になりますが、その梯梧荘跡地としては、ホテル事業を営んでくれると期待しているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 こう進まなかったというのもありますし、文化財を含めてこういった壁もあったかもしれないですけども、先ほどのこの東京に出回っている案件ですけども、これ梯梧荘跡地、これ一式25億円で売られています。このぐらい金を出すところあるんですよ。これもう少し慎重に、ただ単に入札にするべきじゃなく、プロポーザル方式でまた行っても自分はよかったと本当に思っています。

古宇利小学校跡地、これはプロポーザルですよ。これは進んでいるんじゃないですか。「入札がよかった」と、全然思っていないんですけども、この辺の説明ですね。今もまだ村有地は入札で売却、ホームページにも載せられていますけれども、これ入札に対して、まだ今後も入札していく考えなのか。この辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

村有地の利用につきましては、全てが入札ではなくて、随意契約がある場合もございます。実際には、

村有地の普通財産としては処分を検討する中で、保全すべきところ。それから処分すべきところと検討しながら、その処分については、入札方式にするのか。また近隣の隣接地主の状況も、土地の形状も考えながら、いずれかの方式で処分すべきところは処分するという状況になるかと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 じゃあ近隣地主のこの意見とか、そういうのも考慮しながら入札にかけるのか。そういうのは判断するというので、理解してよろしいか伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

これまで以前は、村有地を求めたいという方が先に隣接地主の同意をもらって、随意契約をしていたという状況がございます。それはまた一方から見れば、早い者勝ちという状況でもございますし、また村有地がある場合、いろんな方がその隣接地主へ同意をもらいにいくという状況も、悪影響も検討、勘案されて、もし売の対象であれば、入札方式が第一段階として考えられるところ、また入札によっても処分、地形によってでございますが、その土地を処分することによって、袋地になってしまうというところがあるのであれば、そういったところはまた入札とか、処分については、補助しなければいけないという状況がございますので、いろんな所有地の形態、村有地の形態がございますので、その場所場所に応じての検討が必要かと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 入札について、また改めて質問、質疑していきたいと思います。これはこれから村長にお伺いしたいと思いますけれども、これ村長はこの臨時会の際に、議会で議決されましたら、村長としても早速行動をして、この事業に一日も早く着手して、村の観光発展、産業発展、雇用の拡大、今帰仁村の発展につなげられるように、ぜひモデル的な事業として成功できるよう最大限努力していく決意であるとおっしゃっていましたが、これは今までどのような努力をしてきたのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問にお答えします。

具体的にどういう行動をしたかということですが、質疑の中で指摘があったように、代表が現在までに2人ですか。かわりまして、なかなかその具体的な計画がなかなかなかったものですから、村長として具体的にまだこの代表と会ったことはないんですけれども、先ほど指摘されましたように、当初の計画から私としてもおこなっているということは認めざるを得ないと思いますので、今回答弁しました7月19日に新しい代表が役場に来られておりますけれども、私はそのときにちょっとお会いしていませんので、この答弁のとおり、事業者から事業経過について、村の協定に基づいて早目に進めてもらうようにということで、近々連絡をとって、答弁の中では詳細が決まり次第というお答えをしましたけれども、少し具体性に欠けますので、詳細はいつごろまでに具体的に決めるのか。あるいはまた当面の計画として既存の建物の取り壊しを予定しているということですが、そこについてこの事業が早められるように近々申し出をして、この代表と会って意向を聞きながら、早目に進めるよう申し入れをしていきたいと思います。そしてまた先ほど指摘のあった、東京でいろいろと村があたかも合意したかのような事実と反することが

かなり情報として流されているということですから、村も十分に把握してなかったという点は非常にこういう大事なことについて、いろんな情報をもっともっと村としても情報を把握すべきだったのかなと思いますので、議員から指摘された資料が提供いただけるのであれば、それを参考に弁護士等とも相談して、事実と反することであれば確認の上、これについてはきちんとこの情報を提供した会社には、文書等での訂正の申し入れとか、そういうことをして、その事業が早目に当初の目的どおりできるように、これまで以上に取り組んでいきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 以前にこの臨時会が行われた際に、高橋ホールディングスという会社があって、これも議会の議決を得るために、いろいろと協定を結んで高橋ホールディングスの名前も結構出てきましたけれども、この存在は今どうなっているのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

現在、会社の代表者が変更されておりますが、その説明の中では新たな協定会社としての企業が8月22日に来てましたという状況も説明しましたが、現在はその高橋ホールディングスではなく、新しく紹介された会社とやっていくという説明を受けている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 臨時会でいろいろと議論した秋吉氏もいない、提携先の高橋ホールディングスもない、何の議会だったのか。本当に意味がわからない議会になっています。以前にも高橋ホールディングスの協定書、TONYカンパニーと結ばれた協定書、これでも期限が平成31年3月末日となっていて、これ議会でもこの日付はどうなっているんだということで、たしか質疑をしています。その際には契約更新していくと説明しているんですよ。説明しているのに、これ契約更新されていないじゃないですか。これどうなるんですか。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時01分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時02分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

臨時会においてのこの提携会社は高橋ホールディングスとの協定を行って、3月末までの期限ということで説明されているかと思います。またその3月をもって終るのではなくて、その後具体的な事業計画が進めば、協定から契約にかわるという説明もされていたかと思いますが、現在の代表者としましては、この高橋ホールディングスの提携ではなくて、新たに村のほうに紹介された会社と事業実施していくという状況でございますので、高橋ホールディングスの参入はないかと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この大事な臨時会の中で、我々も本当にずっといろいろと相談もしながら、臨時会に臨んで、当局からも一生懸命説明があったんです。予算も可決されたいということで、そして秋吉氏のことも言って、秋吉さんの言葉もありました。そして高橋ホールディングスという会社も見つけて、

もうバックアップ体制もできました。なので「大丈夫ですよ」ということで、議会に諮ったんじゃないですか。諮ったのに代表者もいないし、高橋ホールディングスもないじゃないですか。何だったんですか、あの議会は。そういうことを言っているんですよ。「違う会社と、今進めています」と、これはこういうことがあるから、入札制度もだめじゃないかと訴えているつもりもありますし、実績がない会社を参加させた。これもおかしいんじゃないかと最初から、当初からずっと言っていますよ。それにおいても、説得するためにいろんなことを言ってきました。村長も「最大限の努力をすると。すぐにでも飛んで大阪に行って、高橋ホールディングスの代表と会ってくる」とおっしゃったにもかかわらず、何も進まない。何もできていないんですよ。この今の状況をどういうふうに捉えるのか。これは村長から答弁を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問にお答えします。

指摘されているとおり、当初の計画より具体的に進んでいないということは事実でありますので、先ほど答弁しましたとおり、新しく代表になられた方との契約は有効ということで理解しておりますので、早目にこの代表と会いまして、今後の具体的な事業内容等を詳細にお聞きしまして、村からも積極的に、具体的にこの事業が進められるように、取り組んでいただくよう申し入れをしていく予定であります。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この臨時会の際にも、「担保をとれるのか」という質疑もありました。この担保をとれるのかということに対して、前副村長は「協定書を結んでいるので、担保はとれた」という答弁をされているんです。この協定書というのは生きていますよね。代表者がかわっても。そこを再度、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

一番最初に村長のほうから答弁があったとおり、代表者はかわりましたが、村との協定は遵守していきますと。村との協定どおりに事業を進めますという確認しておりますので、現代表者においてもそのホテル事業を実施されるものと期待しているところと、また先ほど村長から答弁があったとおり、企業と調整をしながら、ホテル事業を実施するようにかかわっていきたいと考えております。

企業との協定でございますので、双方企業の代表者がやっておりますので、企業としてはその協定に基づいてやっていくと表明もしておりますので、同協定書は効力が生じていますし、またそのとおりにやっていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 担保のとれたという協定書、これをもとに議会では議決されました。協定書の2条、先ほども言いましたけれども、事業計画概要書及びコンセプトシートに基づき、ホテル事業を実施することとあります。これコンセプトシートによると100億円規模のホテルでありました。この100億円規模のこのホテル、これは必ず行くと断言できるかどうか、これは村長にお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問にお答えします。

100億円規模の事業ということでありますけれども、断言できるかということでございますけれども、やはり新しい経営者と今後の計画、そういうものについて、話し合いをする中で、前回の協定書についてもそういう協定があるので、それ以上の規模の事業をぜひやってもらいたいということは言いますけれども、断言ということはちょっと今、答弁はちょっと差し控えたいと思います。100億円規模以上できるようにして、申し入れをして交渉していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 臨時会が行われた際に、この協定書これが担保として議決されました。これ断言してもいいんじゃないですか。それをもとに議会に諮って、全協でも説明しました。100億円規模のホテルをやりますと。担保をとれるのかといえば協定書を結んでいるので担保はとれていると言っているわけです。代表者がかかったからとか、そういうことではなく、これ担保とれていますので、ぜひこのコンセプトシートに基づいて、この事業を行うと言えるのかどうか。そしてこれに対してその方向に行政は指導できるのかどうか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前11時10分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前11時10分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

協定書に基づき、ホテル事業を実施していくという中で、企業からコンセプトシート、計画概要書という形でこのシートが出ておりますけど、その中では事業規模としては100億円程度ということで示されておりますけど、必ずしもこの100億円が固定的なものではなくて、先ほど村長からありましたとおり、100億円以上であってもいいだろうし、100億円若干下回ってもいいのかなということがございますけど、この梯梧荘の跡利用につきましては、このホテル事業を実施していただくように行政側からも、村側からも企業に対して申し入れをして、早くこの跡利用に取り組んでいただけるように調整してまいりたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 臨時会の際にも100億円が100%というわけではなく、1ミリも動かない。そういうものではなく、柔軟に質疑もありました。だけど許される範囲があるだろうということもこの議会の中でおっしゃっていたんです、質疑で。100億円の事業を我々に説明して我々の信用を勝ち取って、実際に行うのは10億円とか、そういうことにならないように、ぜひ行政は村長初め監視をして、これも今、現段階では見守るしかないというふうにも思うんですけど、これはぜひ強い立場でもう売ったから終わりではなく、ぜひホテル事業、景観にマッチしたリゾートホテルの誘致、これは村長も基本政策に掲げておりますので、これはぜひ進めていただき、指導していただきたいと思っています。これに関して、最後にまた村長から答弁を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問にお答えします。

当初の計画、先ほども答弁しましたように、当初の計画よりはおくれていると感じております。そしてまた代表がいろいろとかわることによって、事業のおくれの原因にもなっておりますので、今回代表になられた会社と早目に今後の計画等について、協議をしていきたいと思っております。そして今、與那議員からいろいろと指摘されました件は、早目に役場で委員会を開きまして、指摘された件の具体的な内容も含めて、どういうふうにすればこの事業が早くできるのかということを早速、庁議で協議をして先ほど答弁しましたように、事実と反するようなことも流れておりました。またそのことが事業に悪影響を及ぼすということも考えられますので、その対処も含めて議会終了後、早速検討委員会を開いて、これまで以上に積極的に対応していきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 我々も今後の動向、これを見守りながら、梯梧莊跡地がうまくリゾートホテルへと、今帰仁村が望むような形になっていくことを期待して、質問事項2.に移らせていただきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時14分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時14分)

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前11時14分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時25分)

8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員

質問事項2に移りたいと思います。国保に関してなんですけれども、国保値上げに対する村民への周知はどのように行われたのか。という質問に対して、答弁の中で、村民への周知については、5月から各公民館を訪問し、区長へ説明会の持ち方について意見を聞きました。とあります。これ区長から意見を聞いて、どうなったのか。どのような対策、どのような意見が出てきたのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの8番與那勝治議員の質問について、ご説明いたします。

公民館を訪問し区長へ説明の持ち方について、意見を聞いた中で、その中で住民を一堂に集め、さまざまな意見や質問を交わすなど、国保に対しての相互の理解が深まるものと考えての説明会を開催いたしました。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時27分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時28分)

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 説明不足がありまして、区長の皆さんから「東地区、西地区に分けてはどうか」とか、例えば「学校区に分けては、どうか」だとか、そういう中での先ほどの一堂に会して、説明会を開催するに至っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 区長の意見を踏まえて、一堂に会して説明会を行ったという解釈であります

けど、これは説明会を行うという案内ですね。これはどのように行ったのか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

説明会の開催についての周知でございますが、6月の「広報なきじん」あとはホームページ等に掲載し、周知を図り、7月に税が確定いたしますので、対象世帯へ郵送にて通知案内をいたしました。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時30分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時31分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 説明の中で周知ということで、広報ということでありましたけれども、こちらのほうは訂正いたします。

7月に納付書と同封して説明会の通知を対象者の方へ、通知したところでございます。

広報のほうでありますけれども、制度改正、それから今回の税額、税率改正について、広報のほうに掲載してございます。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これですね。この国保の保険税率、税額の改正に伴って議会終了後、直ちに各字回って説明会を開きたいというそのようなこともあったと思いますけれども、あれは3月の終わりぐらいですよ。それからこの間、たった一回の説明会です。それも納付書にこの通知ただけで、対象者しかわからない。対象者の中にもわからない方もいましたよ。こんなあり方でいいのかどうか。この辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時34分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時34分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

3月議会のほうから期間等もあるということで、時間的に早目に進められたのではないかという話でございますけれども、私ども福祉保健課のほうで話し合いながら、どのように国保に対しての住民への理解、そういうところを考えると、住民を一堂に集め、やはり質問や意見を交わすことで、より相互の理解が深められ、こちら国保にまた問い合わせ等もありましたらというところもありました。実際に、国保の窓口に来られた場合には、きちんと話ができるように、また体制も整えて、より一層村民への、先ほども申しましたけれども、国保に対して理解が深まるものと思ひまして、一堂に会しながら、また各公民館へ、国保係長と一緒に回りながら、意見をいただきながら、今回一堂に会して、説明会を開催したところでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 区長のところに行って、説明会の持ち方について意見を聞いた中で、一堂に会して、説明会を行ったほうがいいと。そこまではいいんですよ。そこまではわかるんですけど、その後の通知の方法、あれでいいのか。それも小さい紙ですよ。小さい紙1枚を入れて、誰がここに集まる

んですか。答弁書を見ても、集まった方は少ないと書いてあるじゃないですか、そのことを自分は言っているつもりで、この通知の仕方、これでいいのかどうか。再度説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。(休憩時刻 午前11時36分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。(再開時刻 午前11時37分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

今、お話のありました非常に見づらいということでございます。こちらのほうで、話し合った結果なんです、まずは全対象者世帯に届くということを踏まえまして、それから窓口等、電話等で質疑、質問等がありましたら、こちらのほうで対応していくという体制のところ、非常にそこら辺は見づらかったというところは今後、考えていかないといけないことだと思っております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 国保に限らず、毎回、毎回この通知の方法とか、周知の方法、この辺は必ず議題に上がるわけです。その都度指摘されて、皆さんもこう聞いているはずなので、これはぜひ改善して、今後また先ほどの答弁によれば、また開催する予定であるというふうな、ニュアンスで私は捉えたんですけども、開催するのかどうか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。(休憩時刻 午前11時39分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。(再開時刻 午前11時39分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

再度説明会を開催する件につきましては、こちらの窓口等も含めまして、村民の声を聞きながら、また課内でも協議をして、必要があれば開催していきたいと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 必要があると思います。

また再度、区長にもいろいろと意見、ぜひとも伺って、今後につなげていただきたいと思います。

今回増税しましたがけれども、今後も計画的に上げていくとありました。増税していくとありましたけれども、この辺想定されるスケジュール等、そういうのがあれば、お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。(休憩時刻 午前11時41分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。(再開時刻 午前11時41分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

今後、国保税について、改正していくかということでございますけれども、こちらにつきましては、まず被保険者に対する健康づくり、まずは保健事業等を役場のほうもしっかり進めながら、それからまた医療費の抑制に努めながら、国保はご存じのとおり特別会計ということでありますけれども、今は自主運営ができないところもございます。それからまた財政的なところも含めまして、今いつするかというスケジュールについては、具体的に答えることが難しいというか、スケジュールは特に今はございませんけれ

ども、そういうことを踏まえながら、またその引き上げになるときには、またこちらのほうで説明の際には、また皆様のご意見も聞きながら進めていきたいと思います。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この国保なんですけれども、財政的にやはり特別会計として、大変厳しい状況があるのは理解しています。ただしこの加入者、加入者にも負担もものすごく大きいのも理解していただいて、所得に対する何パーセントが上限だとか。そういう数字も示していただきたいんですよ。ただ赤字だから、この赤字額を割り振るのではなく、所得に対する幾ら、何パーセントまで、その辺までぜひ村は数字をもって、そして説明会なり何なり国保に対しての周知を図っていただきたいと考えております。

ここは村長にお伺いしたいんですけれども、これは国保が増税されるにあたって、この議会において、「国保増税に伴い、身を削る覚悟はあるのか」という問いに対して、「議会で、改正について結論が出た段階で検討したい」と答弁しています。どのように検討したのか。この今の現状を、説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問にお答えいたします。

国保の厳しい財政状況の中で、村長身を削る決意も含めてという答弁があったということですが、国保税の改正があったからすぐじゃあ村長が、村長すぐに「身を削る」というのは、具体的に言えば、条例に基づく村長の報酬の減というのが、具体的な身の削り方だと思いますけれども、それについては今すぐということではなく、村の行財政改革等を含めて、国保の今後の見通しを含めて、庁舎建設もこれから始まりますと、かなり村の財政状況もこれまで以上に厳しいということは想定しております。その中で、仮に村民サービスの提供の低下とか、そういうことが現段階ではまだ予想されてはおりませんけれども、そのときになって、総合的に含めて、村長だけでいいのか。議会も職員も含めて、行政改革の中で必要なのかということも含めて、検討していきたいと思いますが、国保の件については、先ほど課長からありましたように、特別会計でありまして、基本的には一般会計からの繰り入れ等もしなくて運営できるというのが理想なんですけれども、国保の状況が非常に所得の伸び悩んでいる今帰仁村の国保税の増収も今のところ厳しいし、それから加入者が自営業とか年金者、所得の少ない方々が入っておりますので、先ほど課長からの説明があったように医療費の抑制、健康づくり、そして国保の税の増収というのは、やはり加入者の所得の向上も大事でありますし、また引き続き県内のいろんな団体を含めて、特に沖縄の国保は、前期高齢者が全国に比べて非常に少ないという状況の中で、国から来る支援金も全国に比べて低いということが言われておりますので、国への要請等も含めて、総合的にしながら、その中で村長が身を削る必要が、どの時点であるのかを含めて、国保のみに限らず検討していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 どの時点であるのかとありました。自分は現時点だと思っていますけど。これ村長は議員時代、一貫して国保値上げに対して反対だったと思うんです。今回こう増税に至った状況下であります。村民この加入者に対しては、負担を強いているわけです。村首长みずからこの微々たるものかもしれないんですけれども、その姿を示して、やはり特別会計、国保の会計は改善していきたいという姿

を見せるべきじゃないかと自分は思うんですけれども、改めて見解を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問にお答えします。

身を削るということで、決意は何もしていないということではないんですけれども、村長一人でこの問題を身を削って、見本を示していい方向に行くのかということについても、検討課題だと思いますので、身を削る覚悟は「何もしない」ということではないんですが、先ほど答弁しましたように、これは村三役、執行部のみならず、それを構成しております議会も含めて必要なかどうか。村長が判断をすれば、また議会への、これは条例事項でありますので、含めて総合的に検討していきたいということであります。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 3月の段階だったと思われましてけれども、それから議会改正で結論が出た際に村長は検討したいとおっしゃっていました。検討したい中でまだ検討中だということでありました。我々も議会もやはり姿を見せないといけない。身を削る覚悟、私自身は持っているつもりもあります。これはぜひ村民に姿を見せるためにも、議会と村と一体となって取り組むべきだと考えております。これはまだ結論に至っていない、検討中であるということですので、これは引き続き質問していきたいと考えております。

最後ですけれども、庁舎建設についてであります。これ端的に村内の公共事業を含めて、工事も少ない状況において、庁舎建設というのはやはり大きな建設事業の一つになります。これは村長も議員時代から、公共工事の村内優先発注というふうに訴えておりましたけれども、これも庁舎建設、これは村内優先発注できるのかどうか。考えているのかどうか、説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問にお答えします。

庁舎建設に伴う村内業者の優先発注ということについては、基本的にそのように考えています。庁舎建設検討委員会からも、意見を求められておりますし、庁議でも検討しておりますけれども、かなり予算規模がこれまでの村の公共事業にはないような事業でありますので、設計等は村内に業者はいませんが、建築については、村内にもランクの業者がいます。それがただ今、村の入札基準からして、かなり特Aクラスに該当するような基準でありますので、100%村内企業が出来るかということは、このランクの位置づけの問題もありますので、基本的には村内業者優先発注ということをしてしながら、どのような方法で優先業者発注、そしてランクの見直し等も含めて、どういうふうにするかということは今、検討中でありまますので、その結論が出次第、村の方針を明確にどこまで優先発注なのかということ、明らかにしていきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 ちょっと言葉を濁したところもあると思いますけれども、分割発注すれば、村内優先発注できるはずなんです。これは村長も議員時代から訴えておりました。ここをぜひ分割しながら、村の優先発注をしていきたいと断言していただきたいと思いますが、説明求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問に、お答えします。

最近もこの発注のあり方、基本構想の策定を進めておりまして11月までには確定しますので、それが出ましたらすぐ基本設計、実施設計を予定しておりますので、それまでには分離分割を含めて、村内業者の優先発注についても結論を出したいと思いますが、現段階では分離分割決定ということまでは至っておりませんが、いわゆる庁議の中では、そういう方法も意見として出ておりますので、それをまとめた上で、11月の基本構想、基本設計の段階までには、明確に方針を出していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 村長の中では、分割発注をして、村内優先発注をしたいという気持ちがあるのかどうか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 これは村内業者の優先発注というのは、基本的に考えておりますので、それを裏づけするためには、やはり今のランクが従来どおりのやり方をしますと、特Aクラスしか参加できない部分もありますので、そうしますと特A業者は村内には数が限られておりますので、この方法も検討課題だと思いますけれども、分割発注も含めて最終的な庁舎建設に対する建設方法等については、基本構想が出る10月末か、11月の基本構想が出るまでには分割方式も含めて結論を出して、またその方針が決まりましたら、村の建設業協会とも意見交換はしていきたいと思いますが、現段階で村の建設業協会から分離分割の要望とか、そういうものは正式に文書として業界のほうからは出ておりません。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 説明ありましたが、村長の中で分割発注を行って、村内業者優先発注をしたいという気持ちがあるかどうかですよ。そこの答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質問に、お答えします。

村長としては、それは政策でもありますので、分離分割を含めて、これはまた内部のいわゆる、村長がそういうからすぐこのランクの基準ですね。改正もしないといけませんので、それを踏まえて、村内業者優先発注できる方法で考えております。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前11時54分)

午 後

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後1時30分)

次に、與那嶺 透議員の発言を許します。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 こんにちは。先に通告したとおり、一般質問を行います。

質問事項1. 3月に引き上げられたジュゴンについて。

質問要旨①ジュゴンの死因と現在の状況、今後の取り扱いは、どのように考えているのか、お伺いします。

②管理維持費用の状況を伺います。

③環境省や県、漁協や研究者とのかかわり方について、お伺いします。

質問事項２．今帰仁城跡の入城者数について。

①過去５年間の推移を伺います。

②オリジナルのお土産品の開発をする考えはないか、伺います。

③５Ｇを活用したバーチャルリアリティの導入について、進捗状況をお伺いします。

質問事項３．村立小中学校体育館及び村民体育館の照明設備について。

ＬＥＤに交換する考えはないか、伺います。

質問事項４．シルバー人材センターの創設について。

昨年の９月の定例会でも一般質問を行いました、その後の進捗状況について、伺います。以上です。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 皆さん、こんにちは。

３番與那嶺 透議員の質問事項１．３月に引き上げられたジュゴンについて、お答えします。

質問要旨①ジュゴンの死因と現在の状況、今後の取り扱いについては、去った７月１７日に、沖縄美ら島財団施設において死因究明を目的とした解剖を行いました。

解剖の結果、死因はオグロオトメエイの尾棘（びきょく）の腹腔内刺入（ふくくうないしにゅう）によって生じた裂傷が原因でありました。

村としては、献体と骨格標本化として取り扱う予定です。現在、運天港内の今帰仁冷凍冷蔵施設で保管しております。

質問要旨②維持管理費については、今帰仁冷凍冷蔵施設の使用料で、月額４,５５３円です。

質問要旨③環境省や県、漁協や研究者とのかかわり方については、ジュゴンは絶滅危惧種で国指定天然記念物であることから、鳥獣保護管理法等の所管をしている環境省沖縄奄美自然環境事務所や、ジュゴンの保護対策に携わっている沖縄県に、献体として協力をしています。

また、研究者につきましても環境省沖縄奄美自然環境事務所や沖縄県を通して、献体の調査及び分析方法の助言をいただいております。

漁協につきましても、現在、特にかかわりはございません。

続きまして、質問事項２．今帰仁城跡の入城者数について、お答えします。

質問要旨①今帰仁城跡の入城者数につきましては、平成２６年度２８万６,０１３人、平成２７年度２９万３,３３１人、平成２８年度３０万１,４７９人、平成２９年度２７万４,８６７人、平成３０年度２５万２,１５５人です。

質問要旨②オリジナルのお土産品の開発については、グスク交流センター指定管理者等から、今帰仁城跡関連資料を活用したい申し入れ等があれば協力したいと考えております。

質問要旨③５Ｇを活用したバーチャルリアリティの導入については、今年１月にＮＴＴドコモが城跡内において、実証実験を行っております。

５Ｇの実用化は２０２０年春より順次、始まるサービスと言われており、村としては具体的な導入の予定はございません。

続きまして、質問事項３．村立小中学校体育館及び村民体育館の照明設備についてお答えします。

質問要旨のLEDへの交換については、2020年に水銀灯が製造中止になることもあり、照明器具の更新を行っていく必要があると考え、今後、補助事業の活用を含め更新計画を作成していきます。以上。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 3番與那嶺 透議員の質問事項4. シルバー人材センターの創設について、お答えします。

質問要旨のシルバー人材センターの創設の進捗状況については、シルバー人材センターの運営状況を調査しているところです。

引き続き調査を行うとともに、その調査結果を踏まえ、検討していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 まずジュゴンの件から、再度質問していきたいと思います。

答弁の中で解剖の結果、死因は、オグロオトメエイの尾棘（びきょく）の腹腔内刺入（ふくくうないしにゅう）と、ちょっと難しい言葉ではあるんですが、まずこのオグロオトメエイについてなんですが、これは県内この近海にも多く生息しているエイの仲間なのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいま3番與那嶺 透議員の質問について、説明いたします。

オグロオトメエイは、沖縄県沿岸、浅い海に生息しているエイでございます。ちょうどジュゴンが生息している海域、浅瀬と重なる箇所に生息しています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 このエイなんですけれども、尾棘といいますか、このしっぽに細かいとげがついているのかを、それを尾棘というのかどうかわかりませんが、このしっぽ自体に毒があって、それがたまたまジュゴンの腹腔内と言っているのも、お腹に刺さってしまっ、それで死んでしまったのかということなんですけれども、そういう解釈でよろしいですか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

オグロオトメエイのとげでございますが、実際、解剖で検出されたとげは、24センチ程度のとげでございます。微力の毒もあります。ぎざぎざがあって、返しができないような感じで、一度刺さると抜けにくいという状況で、説明がしづらいんですが、状況としましては、右のお腹から貫通しまして、内臓内を突き進んで左の脇腹の筋肉に到達していたということで、内臓内の破裂が解剖でありました。その辺でその裂傷と、内臓破裂が死亡の原因ということでございます。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 大体、理解いたしました。こうやって死んでしまったのが打ち上げられたということで、村としては献体と骨格標本化として取り扱う予定であるという答弁ですが、献体といいますと、どのようなことを指すのか。具体的に伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問に対して、説明いたします。

献体についてなんですが、検査等の件で今回使用したのは、献血と献杯の文字の入る献体ですね。意味合いとしましては、今帰仁村が所有者ということで、生態について学術教育的に発展のためにジュゴンの亡骸を提供すると各研究機関や国、沖縄県に提供するというので、献体という文言を使わせていただきました。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 この件につきましては、3番のほうにも関連しますので、後ほど詳しく、もうちょっと聞きたいと思っております。骨格標本化とありますが、これについてはどのような形で考えているのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

骨格標本については、骨格であるということで、骨のみになるんですが、骨の状態を展示するような状態にするまで、油とかを抜く期間があります。これが1年以上かかりますので、それとあわせて、現在補助事業を含めて事業化を考えていますので、令和3年度以降の事業化になると想定しています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 この骨にするには時間がかかると。油を抜くには1年以上かかるということなんですが、これはどのようにしてやるのか。屋我地のほうでしたか、砂浜のほうに埋めてできると聞いたことはあるんですけども、どのような形で骨にしていくのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

骨格標本化に向けてなんですが、骨の状態を骨格標本にできるまでには、時間を要するというので、現在どういうふうなやり方がベストなのか調査していますが、解剖を実施した沖縄美ら島財団のアドバイスを受けながら進めていきますが、美ら島財団のほうでも、保管はできるような話がありますので、まだ調整事項がありますので、この辺は美ら島財団等含めて、適当なところを確認しながら対応していきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 大体、理解いたしました。

では標本するに当たり、この展示場所とか、そういったのも今後、必要になってくるかなとは思いますが、これは大体めどはついているのか。歴史文化センター等が一番いいのかと考えているんですが、その辺、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

展示場所についてなんですが、現在のところグスク交流センター、そして歴史文化センターを想定しています。その辺は今後、どちらが適当なのか、ベストなのか協議しながら決定していきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひ教育の観点からも、そこに展示していただいて、村民及び子供、児童生徒も含めて、教材といいますか。生の教材として活用していただきたいと思っているんですが、その辺どのように考えているのか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

教育教材に関することについてなんですが、ジュゴン自体の生態、国の天然指定記念物ということもありまして、生態としての教材としての教育材料、そしてジュゴンが生息していた海域である自然環境に関しても、教育材料となりますので、そういった観点から教育的な材料として、活用していきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひですね、活用していただきたいと思っています。

ジュゴンネットワークという市民団体がありますが、その団体にこのジュゴンの生態を調査したDVDがありまして、この映像といいますか。DVDを見たんですけれども、とても人なつっこいようで警戒心が強い、また泳ぐスピードが速かったりとか。そういったのもあって、子供たちが見ても、多分楽しめるのではないかとDVDでした。この辺を活用できたらと思っています。ぜひこの村内の子供たちだけではなく、修学旅行生とかもやはり来るとしますので、この辺ピーアールして、令和3年以降とは言っているんですが、焦らずでもスピード感をもってやっていただければと思っています。

続いて、維持管理費なんですけれども、月額4,553円と運天港の冷凍冷蔵施設のほうに置いているということで、使用料が出ているということなんです、この費用について、これは村が丸々支払っているのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

冷凍冷蔵施設の使用料については、村が負担をしております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 これなんですけれども、なぜ村が負担をしているのか。これ絶滅危惧種であって、環境省とかそういった保護されている動物ですので、国あるいは県も少しずつでも出してもいいんじゃないのかと考えているんですが、その辺の見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

冷凍冷蔵施設の使用料についてなんですが、所有者が今帰仁村であります。ジュゴン自体については献体ということで、その生態の調査等、研究に関しては、沖縄県そして環境省の調査になります。この調査費用に関しては、沖縄県、国のほうに負担していただくということで、あくまで所有者は今帰仁村ということで、保管しているということで今帰仁村で支払っていきます。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今帰仁村が所有しているから負担しているということですが、

ちょっとまだ解せないのが、これは国が天然記念物というふうに指定しているものであって、たまたま今帰仁村の運天漁港のほうに打ち上げられたから、今帰仁村の所有になっているのかと思っているんですけども、それで月額4,553円、何カ月払うのかどうか。これはまだわかりませんが、全部、全額この使用料を村が負担するというのは、ちょっとまだ解せないんですけども、改めて答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

国指定の文化財ということですが、これは死亡すると、文化財にはなりません。村としては水産資源保護法の法律によって採取したということと、あと鳥獣保護法で、捕獲をして所有したという手続を踏んでいて、今帰仁村の所有となっております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今帰仁村の持ち物だから、保管する。使用料は今帰仁村が全部負担するという事で理解いたしました。

次に③の環境省、県とのかかわり方についてなんですけれども、今も解剖やいろいろと調査とかありますが、この調査費用に関しては、県、国が持つということですが、今帰仁村として「この献体に協力をしていく」と、答弁にあります、これは具体的にどういうことなのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

ジュゴン自体、生きている状態があまり確認できないものであって、この死体が保存されている状況は、現在確認すると、美ら島財団のほうに1体、かなり古いものがあるということを聞いていますが、それは調査しうるようなものではないということで、生態等がよくわからないジュゴンでありますので、貴重な献体となりますので、村は国、県にも献体として学術的資料として提供していくこととなっています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今、この献体ですね。国、県は調査するという事なんですが、これはいつごろから始まって、いつ終わるのか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

実際のところ、7月に解剖がありまして、臓器等の微量のサンプルはただいま保存はされています。これは国、沖縄県が取り扱っているということで、これから本格的な分析調査で追加調査も出てきますので、こちらに関しては予算等が絡んできますし、まだ協議ができていない状況ですので、村としては、年度内にスケジュール等がわかるような段取りで、調整していきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 この辺も先ほどの維持管理の話になってくるんですが、この答えがあることで、この維持管理費用がかさんでしまうということもありますし、国が調査するためには、もうちょっと臓器であったり、いろんなところを切り取って持っていくかと思しますので、この辺も国や県に対して、早目の予算措置等を交渉といいますか。やっていくことができるのかどうか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

予算の減に関しては、協議して対応することは可能だと理解しておりますので、この辺はしっかり協議して費用分担はしていきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひやってもらって、維持管理もただではありませんので、できるだけ早目に、それが終って初めて骨格標本に移るのかと思っています。この補助事業等も探しながらやっていくものだと思いますが、これも同時進行でできるのかどうか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

維持管理費用と骨格標本化に向けた事業についてなんですが、維持管理費用、そして骨格標本化については、同時作業で協議しながらスケジュールを組んで、できるだけ維持管理費用が出ないような、コストを抑えるような形で進めていきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひやっていただきたいと。またさっきの話に少し戻ってしまうんですが、教材として活用して、次の質問事項にもつながることではあるんですが、今帰仁城跡の入城者増にもつなげていければと考えていますので、ぜひ実現できるように期待しております。

次の質問に行きたいと思います。今帰仁城跡の入城者数に関してなんですが、入城者数が平成26年度28万人、平成27年度が29万人、平成28年度が30万人で、平成29年度が27万人、平成30年度が25万人と一旦、上がってまた落ち込んでしまいました。平成28年度の30万人余りの入城者数が出ておりますが、これについて30万人、少しずつ伸びているのは、どのようなことが要因でふえていったのかですね、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

30万人の入城者数があった平成28年度、この数字の伸びについては、なかなか分析しづらくて、明確に答えることができないんですが、平成26年度28万人、平成27年度が29万人ということで、26年度には中国からのクルーズ船の寄港回数の増加がありまして、それから伸びているであろうと感じております。

平成28年度の30万人の件については、ちょっと明確に答えることはできません。ご理解願います。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 少しずつ伸びて行って30万人に到達したと。大きな目標としては30万人というのが、以前からあったと思います。これが達成したんですけれども、翌年27万人と3万人弱の減になってしまったということなんですが、この辺の要因はじゃあ大体、検討がつくかどうか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

こちら減の要因ということなんですが、こちらのほうも明確な要因というのは、回答は難しいというところで、考えられるということで、首里城以外の琉球王国関連遺産群の城跡ですね。中城、座喜味、勝連

城跡ですね。数字は現在把握していないんですが、減少傾向ということを確認しています。そして平成30年度については、那覇バスの定期観光ルートが撤廃になりまして、減少になったであろうと。要因じゃないかと考えています。その定期観光ルートの撤廃については、食事の場所がないということで、ヒアリングのほうで確認しております。ことしの7月からは、小規模であります、那覇バスの定期観光ルートがまた復活しております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 観光ルート、バスの観光ルートがまた復活しているということで、また明るい材料が見えてきたのかなと感じております。それでは今年度と次年度についてなんですが、この目標というのは、明確に示されているのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

入城者数の目標値は、定めておりません。しかしながら一括交付金等でも今年度はデジタルサイネージの事業ということで、観光客のサービスアップを図るということ。そして平成24年度から続けている環境整備事業の草刈り等の環境整備、そしてふるさと納税を活用した桜の管理等を実施して、城跡自体の魅力向上として事業は進めているところです。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 明確な目標数値が出ていないのは、なぜなのでしょう。これある程度、数値がないことには、補助事業もとりにくいのかなと思ったりもするんですけれども、今課長から説明があったように、いろいろとやっていますが、明確な数値が出ていないのは理由があるのでしょうか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

目標値を定めていないというところで、平成26年度、平成28年度までに増加、そして平成30年度まで減少ということで、上昇と減少が著しいということで、年度の目標値は掲げるのはちょっと難しいという判断なんですが、今帰仁村総合戦略は30万人で、目標値としていますので、そこを目標に前年度をまずは上回っていくということで、増につなげるということで、取り組んでいるところです。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 増につなげるように努力しているというふうに今、解釈いたしました。

次の質問要旨②に行くんですが、オリジナルのお土産品の開発なんですが、指定管理者、交流センターの指定管理者から関連資料を活用したいという申し入れがあれば協力したいという答弁をいただきましたが、これは村として教育委員会として、独自にやる考えはないのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

オリジナルのお土産品の開発について、教育委員会での独自のお土産の開発の考えということなんですが、現段階では考えておりません。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 考えていないということなのですが、これ考え方として、入城者数をふやすためには、特にお土産はあまりつながっていないというお考えなのかですね。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

お土産品ですね。独自のものがあれば売り上げ、収入がふえるかということなのですが、実際に城跡のシンボリックなお土産品はない状況です。教育委員会としては、まだ指定管理をしているこの指定管理者からの申し入れ、その他の村内の事業者等からも、相談等があれば協議しながら協力していきたいという考えです。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 協力するという立場を、今とられているんですが、実際この指定管理も含めて、そこにあるテナントの収益にもつながると思うんですが、今帰仁村のピーアールとしては、やはり今帰仁村が主体となってやるべきだと考えております。この辺、一部だけの収益のために村が協力する。協力する立場だという考え方はちょっといかがなものかなと思っておりますが、今帰仁村のために、村のピーアールのために城跡を活用する。活用するためには、いろいろと村としてもアイデアとか、そういったものを生み出していく必要があると思っておりますが、その辺、村長のお考えを伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 3番與那嶺 透議員の、質問にお答えします。

残念ながら今帰仁城跡の入城者が平成28年度30万1,479人をピークに、29年、30年とかなり落ち込んでおりますが、その原因については、先ほど担当課長から言われたようなのが要因かと思いますが、じゃあ今後どういうふうにならしていくかということですが、現在村がかかわるものとしては、グスク桜まつり、これは実行委員会方式ですが、やっておりますけれども、村として今こういう形の入城者をふやすために、現在やっているような村内の全ての団体を網羅したという催しとかは、今のところちょっと検討していませんけれども、入城者をふやす方法というのは考えないといけないと思いますので、今指定管理者と月一ですか。教育委員会そして関係者の情報交換を含めて、課題とか入城者をふやすためのいろんな情報交換もしておりますので、その場でもちょっと情報を共有しながら、どういうことをやればふえていくのか。例えば前に村内のシンポジウムの中で提案もありましたけれども、例えばこのすばらしい城跡を活用した、現在、教育委員会で実行委員会方式で主催している成人式、そういうものを全国に呼びかけるところは青年会が主催にするとか、結婚式とかも一時ありましたけれども、最近ちょっと減っているような感じもありますので、ちょっとこういうこと。それからオリジナルの件ですが、やはりここでもしか買えないようなお土産があれば、これもひとつのふえる要因になるのかと思います。

そしてまた現在、村内にもいろいろと加工品とかありますので、それをもっと今、店が6店舗ありますけれども、現在5店舗にはこういういろんなお土産とかありますので、そこら辺ももっとこう工夫をして、指定管理者とも情報を共有しながら、そしてまた現在業者、6店舗入っていますので、情報交換しながらどういうふうな形でいく予定かについては、この月一の情報交換会、その他また必要があれば、業者も交

えて検討すべきだと考えております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 いろんな手立てを考えて、入城者数をふやしていくべきだと思っております。お土産の話をしていますので、実はある方からいただいて、これ巻物なんですけれども、大分県の岡城という滝廉太郎の「荒城の月」のモデルになった城跡がありまして、そこのお土産で、ある方からお預かりしたものなんですけれども、こういうふうに紹介と歴史と配置図とか、そういったものも巻かれているのが売っていたようです。金額のほうはちょっとわからないんですけれども、こういったのも、一つの何といいますか。お土産の一つになるのか。オリジナルのお土産になるのかと考えています。そういうのもありますので、こういうのも考えてほしいと思っています。

あと、これは自分の息子が行ってきたものなんですけど、巖流島、宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘したところに、島に上陸したら、上陸認定証というのがあって、これは切手も買って、そこで投函したはがきが家の郵便受けに投函されるというものがあって、そういったのもこのお土産品として使えるのではないかと考えていますので、これも一つの案として検討していただければと思っています。費用とかもいろいろとあると思いますが、これも一つの呼び水だと思っています。今帰仁城跡でしか買えないお土産と、これもピーアールできると思いますので、そういったこともやっていけば、少しずつまた回復していくんじゃないかと考えていますので、ぜひ前向きに検討していただきたいと思いますが、村長の見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 3番與那嶺 透議員の質問にお答えします。

ただいま具体的な例もいろいろとありましたので、そういうものも参考にしながら、この入城者数が減るということは、入城料も減るということになりまして、村のいろんな事業にもこの入城料は有効に活用されておりますので、ふやせるようないろんな施策をしていかないといけないと思っております。今後2021年度には、クルーズ船も本部港に寄港するということですので、またそのときには相当、インバウンドのお客さんを含めてふえるということが予想されますので、今の時点から先ほどありましたように教育委員会の所管であります教育委員会、それから指定管理者、観光客効果を含めて、今のうちからそういう観光客をどういうふうにしてふやして、そのことがまた村のいろんな事業の拡大につながるかということ、関係者はこれから検討して、一つ一つ具体化していければと思います。一つのあれとして、教育委員会のほうで決定したわけですが、これまで村内の民泊で、今帰仁城を訪れる方は、引率者とそれから生徒割引がありましたけれども、本部町に宿泊した場合は、これまでなかったんですが、これもまた受け入れしているのは、村内の方もたくさん受け入れしております。それはまた教育委員会のほうで、規則を改正して、本部町からの城跡への入城も村内の民泊と同じように割引をして、そういういろんなことを考えながら、ふやしていくような段取りを教育委員会とも連携をして、計画をしていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひですね。この連携というのも大事ですので、何とかやっていただきたいと思っております。

この質問要旨③のバーチャルリアリティに関しても同じようなといいますか、なりますが、今回NTTドコモのほう为主体となって、実証実験が行われました。これテレビ報道もあって、結構地元の北山の高校生が体験したかと思うんですが、これに詳細な内容は、こちらのほうでは把握しているのかどうか。もししていれば、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

NTTドコモによる5Gのバーチャルリアリティの実証実験の件なんですが、こちらはことしの1月9日桐蔭学園高校、約250人、1月10日、今帰仁中学校約30人、北山高校約100人、あと招待者、あと1月11日に、桐蔭学園高校220人で実証実験がされております。

こちらはVR仮想現実映像とAR現実世界と仮想現実を組み合わせた映像の体験ということで、頭部に装置を装着して、北山対中山の戦いの再現、そしてタブレットを用いて遠隔操作で歴史学者の説明が受けられるという内容のデモンストレーションがありました。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 これは今回実証実験をこういうような内容で行われたということなんですが、ドコモはこれを5Gが2020年度ですか、来年度から始まるんですけれども、これを導入して城跡でやるという考えでいいのかですね。やる考えをしているのか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

NTTドコモによる今後の北山城跡での活用についてですが、こちらは年度末に行われてまだ実用化が来年度以降、順次5Gの条件が整ったところからの対応になると思うんですが、その後の協議等は実際行っておりません。その辺はせっかく実証実験していただいたので、確認作業もしながら、歩み寄ってといいますか。協議しながら村とタイアップで村にも利益が出るような内容であれば、実用化を検討していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひこちらのほうから積極的に働きかけをして、タイアップして収益の上がるようなものになっていければと思っております。5Gも次年度からも実用化を順次始めていくということです、これは乗っかるのがやはりいいのかなと思っております。それとあとストリートミュージアムというアプリがあって、これはWi-Fi環境での利用になるんですが、これもVRと同じようにスマホでもできるんです。このアプリを起動して、もちろんこのスポットにいないとできないんですが、かざすとその当時の風景が出てくるような、そういったものもあります。こういうのも入れてもいいのかなと。これはドコモとか、そういったのは関係なく、Wi-Fi環境があれば、このアプリとこの事業者と提携してやればできるものだ。県内ではまだどこもやっていないもので、昨年鹿児島に行ったときに、鹿児島でたまたまあって、これは上等だなと思ったので、こういうのも活用していただきたいと思っておりますが、見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

集客に結びつくアプリケーション、ストリートミュージアムを利用した事例を紹介していただきました。興味深い事例であります。集客が期待されると思われますので、その辺は取り入れている施設等を情報収集しながら、検討していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひ先ほどのお土産品についてもそうなのですが、一部のスポットに光を当てて、そのお客様を虜にするようなこともやはり大事なのかなと、歴史好きな人がやはりこの城跡とかには訪れると思いますので、その方にスポットを当てると。そこでまた次もまた来たいとつながっていくのかなと、リピーターになっていくのかと考えていますので、それも一つの案として、ぜひ実現していただければと思っております。

LEDに移りたいと思いますが、現在使われている水銀灯、2020年にこれは水銀に関する水俣条約というもので、製造が禁止になるようなんです。それでこの品不足になるところでそのときにLEDに交換したらどうかという趣旨の一般質問でございますが、答弁では今後補助事業の活用を含めと、更新計画を作成していくということなのでございますが、大体いつごろから着手していくのか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について、説明いたします。

小中学校体育館、そして村民体育館の水銀灯のLED化についてですが、議員がおっしゃったように水銀による環境の汚染の防止に関する法律、平成27年に公布されています。こちらでは、製造、輸出ができないということになります。現在、水銀を含んだランプを使っていて、製造が中止になっているものもあります。しかしながら、ストックがある状況でもあります。取り付け機具、水銀灯自体が取り付け機具、ほかの水銀ランプがあって、規制を受けていないランプもありますので、その辺も勘案しながら、将来的にはLED化に更新しないといけないものでありますので、これについては、早急に現地確認をしながら現場確認ですね。計画を立てていきたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひやっていただきたい。これは学校の体育館も同様だと考えてよろしいですか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいま議員がおっしゃったとおり、今婦仁村の公共施設等の管理計画等もございますので、その辺にも沿って、更新計画を立てていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 大体理解いたしました。実は先々月ですか。兼次小学校のほうで夕方バスケの部活を見ていたんですけれども、そのときにちょうど大雨が降っていて、雷もごろごろしていて、遠くで雷が鳴った瞬間に電気が切れたんです。すぐ復旧したんですけれども、水銀灯ですので、やはり時間がかかるんですね。15分ぐらい。時間をはかったんですよ15分かかりました。これLEDだったら、すぐつくものなんですけれども、15分ぐらい、真っ暗ではないんですけれども、暗い中で練習したことがあります

ましたので、早急に。また水銀灯に比べ、LEDは節約にもなります。この電気料の節約にもなりますので、ぜひ早目にやっていただきたいと思います。また街路灯というんですか、外灯なんかも今、ほとんど水銀灯が多いかと思しますので、これも一緒に使えなくなると、どうしてもまたLEDの単価自体も上がってくる可能性もあるのかと思っておりますので、その辺も加味して、やはり早目、早目に手をつけて着手して、LEDにかえるというふうに持っていつてもらいたんですが、改めて答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの水銀灯からLEDにということでございますけれども、水銀灯は議員がおっしゃったように2020年度には製造が禁止になると。2019年度までにつくられたもののストックが頼みの綱というところもありますけれども、水銀灯のいいところというのは、安価で長持ちするということでございます。かといって、これをずっと使用していくということも考えられないというところでございます。先ほど答弁したようにLEDに更新していくということではあるんですけれども、その辺についても、施設の更新というか、今婦仁村の公共施設管理計画に乗せながら、他の施設等の更新もございますので、順次、対応させていただければと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 初期投資、初期費用といえますか。設備投資もかなりかさむかと思しますので、補助事業等を活用して、早目早目に着手していただければと考えております。

続きまして、シルバー人材センターについてでございますが、答弁ではシルバー人材センターの運営状況を調査しているところであると。この運営状況はどこの人材センターを調査しているのか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 3番與那嶺 透議員の質問について、ご説明いたします。

今回、調査いたしましたのは、名護市それから読谷村の2つの箇所を調査しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 名護市と読谷村ということで、どのようなことを調査したのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

両シルバー人材センターの運営と、あとそれから補助事業、補助金がどれぐらい入っているかというその内容等を調査してまいりました。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 運営状況と書いてありますので、運営状況なんですけれども、大体名護市と今婦仁村は比較は、もちろんできないんですが、読谷村もそうなんですが、何名ぐらいの従業員がいて登録をやっているとか。その辺も作業内容も調査したのか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後2時32分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後2時33分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

名護市のほうでございますが、平成29年度実績のほうで、会員数255人、それから作業内容のほうですけれども、管理分野といたしまして、駐車場管理ですとか、案内係ですとか、諸施設の管理など、そういう部分を主にしております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 草刈り等の作業は入っていませんでしたか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

室内外の一般作業といたしまして、除草作業、草刈り作業等もございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 大体、理解いたしました。

先ほど補助事業等も調査したという答弁もございましたが、どのような補助事業で運営されていたか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

シルバー人材センターの設置につきましては、任意団体、それから一般社団法人、公益社団法人等ございまして、その中の公益社団法人としての設立になっております。その補助の内容ですが、名護市のほうにつきましては公益社団法人格を取得すると、国庫補助があるということではありますけれども、国庫補助対象となった年3カ年間の平均実績、その会員数100人以上、就業延べ人数417人以上等の制約条件がありまして、本村では厳しい条件でございました。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 名護市の例でいうと、今帰仁村では厳しいと。本村に今帰仁村に照らし合わせて、この見合った人数は、多分多くても10人、20人くらいの規模になるのかと思うんですが、これに見合った補助事業はあるのかないのか。この辺調査したのかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

2、30名規模のシルバー人材センターの主要要件のところについては、まだ調査していないところでございます。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 今後、調査していくお考えはあるか。需要はやはりあると思います。調査してぜひつなげて、つくれるように努力していただきたいんですが、その辺の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

先ほど村長のほうからもありましたとおり、引き続き、そこも含めながら調査を継続的に進めていき

いと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ぜひ隣りの名護市と例えて、規模ではやはり今帰仁村は無理ですよ。これはもう誰がどう考えてもそうなので、今帰仁村に見合った規模で運営していく。またそのような補助事業等があれば、活用していくということも考えてやっていただきたいと思います。これについても、できるだけ昨年の9月の定例会のほうで質問をして、調査をしている。すぐは多分、取りかかってはいないと思っておりますが、できるだけスピード感を持って、やっていただきたいと思います。以上で終わります。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後2時38分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時51分)

次に、上原祐希議員の発言を許します。2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 令和元年度第3回今帰仁村定例会におきまして、先に通告してありました2点について、質問いたします。

質問事項1. 観光振興について。

質問要旨①海岸条例の制定について、どのようにお考えか伺います。

②第3次今帰仁村観光リゾート振興計画の運用について、伺います。

③古宇利島への光ブロードバンド整備の進捗状況について、伺います。

質問事項2. ツマジロクサヨトウの防除策について。

質問要旨①驚異的な繁殖力を誇るツマジロクサヨトウが県内に入り込み、すでに本部町での目撃情報があるが、今帰仁村での現状と防除策について、伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 2番上原祐希議員の質問事項1. 観光振興についてお答えします。

質問要旨①海岸条例制定については、CM撮影やSNSでの発信などにより、大勢の観光客が訪れ、無秩序な海岸利用で多々問題が発生していることは、村としても把握しているところです。しかしながら今帰仁村には海岸条例が制定されておらず、発生する問題に対応できていない状況にあります。

本村海岸の秩序ある利用の観点から条例制定は必要なことと考えており、今後沖縄県からの助言及び先進地事例を参考に、条例制定に向け進めてまいります。

質問要旨②第3次今帰仁村観光リゾート振興計画の運用については、「自然と歴史とロマンに満ち躍動するむら」を基本理念とし、豊かなむらづくりを目指し、各施策に取り組んでいるところです。本村の観光リゾート振興は、地域資源、地域人材、地域産業を最大限に活かしつつ、村民が丸一となつて展開されるべきものと基本目標に掲げています。今後も関係する団体と広く連携を図りながら、効果的に取り組んでいきたいと考えております。

質問要旨③の古宇利島への光ブロードバンド整備進捗状況についてお答えします。

古宇利島への光ブロードバンド整備については、北部広域ネットワークの延伸として、北部広域ネットワーク機能強化事業が本年8月に採択されたと北部広域市町村圏事務組合より連絡を受けております。12

月から工事の着工を予定しており、古宇利ふれあい広場までの延伸を、今年度完了するとのことであります。

質問事項２．ツマジロクサヨトウの防除策について、お答えします。

令和元年７月３日に、鹿児島県においてツマジロクサヨトウの発生が国内で初めて確認され、沖縄本島においてもツマジロクサヨトウが確認されました。今帰仁村では現時点確認の報告はありませんが、引き続き農家及び関係機関からの情報収集に努めていきます。

沖縄県の対応としては県全域での発生状況調査の実施や、当面の間、植物防疫法第29条第１項に基づく措置を行うこととしています。村としても沖縄県や関係機関及び農家との連携を図り、対応してまいりたいと考えています。

○ 座間味 薫 議長 ２番上原祐希議員。

○ ２番 上原祐希 議員 質問事項①のほうから質問してまいりたいと思います。

答弁にもありましたように、今帰仁村でも前向きに必要なこととして考えてやっていくということでありますが、これは既に県とか、そういうところとヒアリングといいますか。そういうことは行ったことがあるのか、伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ２番上原祐希議員の質問に対しまして、説明いたします。

質問の中に県とのヒアリングがあったのかということでもありますけれども、担当レベルのほうで県の担当者と条例制定に向けて、中身も少し確認しながら進めている状況でございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ２番上原祐希議員。

○ ２番 上原祐希 議員 担当者と中身を見ながらということでありましたけれども、これは先進地事例とかをもとに、また今後も参考にしながらぜひやっていきたいということでありましたが、これは恩納村、また渡嘉敷村が既にやっている状況ではありますけれども、恩納村の海岸条例は平成14年に制定されていますけれども、見てみますと、やはり本村の今の自然景観とか、今の観光客の増加に伴う今、さまざまなまさに答弁にもあるように、問題が起きている中で、こういうものを制定することで、ある程度こう秩序を守っていくという取り組みを、恩納村はやっているわけではありますけれども、その中で保全にもつながる取り組みにもつながるような内容でもありますし、また暴力的行為を行うような団体への組織の利益にならないこととか、そういう廃除とかも含めて、きちんと明記されております。またこれは多分、海岸管理条例になるんですけれども、そういうものを制定することで、今後の今、県の海岸になると思うんですけれども、県から移譲を受けた形での認定ビーチ等も具体的に進めていく一つになってくるのかと思っておりますけれども、この辺今、もちろんこういう条例等も既に確認をされていると思いますけれども、そういうものを踏まえて、やはり課題等も今帰仁村に落とし込んだ場合に、課題等も十分に考えられます。

恩納村の場合ですと、恩納村全域の海岸のビーチを、恩納村の管理として今、移譲されている形でありまして、これは渡嘉敷村でもそうなんですけれども、そうしますと、やはり今帰仁村、これだけ自然海岸が多い地域にあって、村での管理というのは、なかなか厳しいのかなというのもある課題であるんですけ

れども、その辺も踏まえながらも、やはり必要なことではあると思いますので、その辺も踏まえて今後、どのような形で動いていく考えがあるか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

確かに課題のほうは山積しますけれども、管理をするとなると、予算も絡みますし、そのあたりも十分、先進地であります恩納村のほうから説明を受けて、進めていきたいと考えております。

また、やはり恩納村でも、これまでの地域住民とのルールづくりが絶対条件だということは伺っております。ですので、まずは今帰仁村の場合においても、利用されている地域の方々とのトラブルは、まずは避けなければならないと。それを前提においた条例づくりが必要ではないかと考えています。その辺を踏まえ、しっかりと今帰仁村オリジナルまではいきませんけれども、そういった中で進めていけたらと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 まさにいろいろと課題はあるところではあると思いますが、既にやはり古宇利島のほうでも、マリンレジャー業者と海の利用については、さまざまな問題が既に課題が上がっていると思いますので、それをしっかりと村として管理できる体制をつくるためにも、ぜひ必要ではないかと考えております。

恩納村の例で見えますと、まさに平成14年に条例を制定して、平成17年に恩納村沿岸域圏総合管理協議会というものを設置して、その中に有識者はもちろんですが、村の漁業組合、ホテル業者、マリンレジャー業者、商工会、村また県の行政職員をしっかりと配置した中で、しっかりとした本当に討議、議論を積み重ねていって、1年後に恩納村の沿岸域の利用保全ルールというものを明確に示しております。

やはり恩納村でもマリンレジャーは昔からすごく盛んではありますが、その影響で漁業者とのトラブルもあり、地元とのトラブルとか、さまざまなトラブルがある中で、このようなことを制定しようという動きがあるということでありました。これは今帰仁村でも十分に考えられてくることだと思いますので、その辺やはりスピード感を持って、取り組んでいく必要もあると思いますが、その辺をまた伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問について、説明いたします。

おっしゃるとおり、しっかりと地域の方々と特にまた漁協、漁民の方とトラブルが起きないように調整をしながら、ルールづくりと連携、そういったまた海は自由に使えますので、それも踏まえて、重なりますけれども、今帰仁村独自のルールづくりも必要かと思います。議員おっしゃるとおり、専門分野しっかりとした方々の意見を聞くことによって、そういったトラブルも避けられるのではないかと考えておりますので、制定を進めるに当たっては、しっかりと専門分野の方の意見も頂戴したいとは考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 ぜひ早目の対策をお願いしたいと思います。

恩納村では、このルールにのっとって、ダイビング業者とかも、あそこは多いんですけども、ダイビングポイントに連れていってもらふ船を、ちゃんと漁業者にお願いをして、漁業組合との協定の中で、これを漁場とは関係ないところに、しっかりと連れていきつつ、ちゃんと観光スポットとしても楽しめるような場所とかを選んでやっております。お金もしっかりとまた漁業者にも落ちるような、観光でもお互いにみんなウィンウィンな関係が成り立つような仕組みづくり等もいろいろとやっていますので、そういう事例も踏まえながら、ぜひ進めていただけたらと思っております。

午前中にも質問がありましたけれども、やはり梯梧荘も今後ホテル等も建つ中で、いろんな話も上がっている中で、やはりあそこは長浜ビーチというのもすごい長い距離で、すごく大事なビーチだと思いますけれども、こういう施設が出てくると、そういうふうなビーチの使用も含めて必要になってくると思いますので、そういうところも想定しながら、ぜひ対策を練っていただきたいと思っております。

続きまして、②第3次今帰仁村観光リゾート振興計画の運用について、進んでまいりたいと思います。これも中身の中で要点をわかりやすく重点プロジェクトとして、1から5までまとめられておりますので、その中から質問していきたいと思います。

方向性としては、これまでの考え方を踏まえた形として、基本理念、方向性は一緒ということで理解しました。その中で、重要プロジェクトの1番の中で、村内の開発抑制等や観光ゾーニングということで、開発抑制のために生活環境を守るためのゾーニングとか、あと住民生活と観光地の観光ゾーニングと、このゾーン、ゾーンの村内の考え方をまとめていきたいということでもありますけれども、今、村としてはたたき台でもいいです、こういう案が既にあるのかどうか。伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時06分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時06分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問の中で、まずゾーニングの件なんですけれども、ちゃんとしたゾーニングというのは、まだ作成はできていない状況なんですけど、いわゆるオーバーツーリズムとか、そういう中에서도そのような計画を立てなければ、厳しくなるのではないかと考えています。その中で観光協会は重要な要になると考えております。商工会も含めてですね、連携はもちろん重要ですけども、今のところは個別法での対応、農業振興法なり、農地法なり、あとは保安林等の規制等もありますので、その中でゾーニングをしていると。特に古宇利あたりは羽地大川の畑かん施設もありますので、そういったところは国庫補助をかけて進めてきた事業でございますので、観光が進んでいるからということで、ただ単純に除外とか、そういったことは、今のところ考えておりませんので、踏まえて現在は個別法なんですけれども、やはり将来的にはゾーニングは必要ではないかと考えてはおります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 そのゾーニングの中で、やはり経済活動を行うような商業施設なり等のゾーニング、経済活動を行うようなゾーニングというか、そういうところも必要になってくると思いますけれども、これまで今帰仁村でいえば、仲宗根のほうがり市街地としての認識ではありましたが、なかなか今はそういう観光とは結びついていないところが見られますけれども、その辺この仲宗根の市街地とか

も、今、今帰仁村としてはどのような位置づけなのか。お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後 3 時09分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後 3 時10分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 質問につきまして、説明いたします。

やはり仲宗根地区は、昔から商業の中心となる地でございますので、また J A のほうが給油所予定地も購入いたしまして、やっと動き出すといえますか。そういった状況になっております。つきましては、少しずつこの仲宗根区外に、ちょっと流れている状況はございますけれども、やはりここが中心となるというふうには考えておりますので、その中で賑わいを戻すという意味で、しっかりと商工会あたりの意見を聞きながら進めていきたいと考えてはおります。

○ 座間味 薫 議長 2 番上原祐希議員。

○ 2 番 上原祐希 議員 確か今帰仁村の地方創生絡みの策定のときに、たしかに仲宗根市街地は入っていたかなと思ったので、一応それを踏まえての質問でした、これは結構こういう古い街並みといえますか。そういうところを好んでくる観光客が結構今、ふえているような状況が見られまして、栄町とか、そこら辺もすごく観光客が入ってきて、古きよき雰囲気を楽しみたいというところが、今ニーズとしてはふえているということでありましたので、そういう今の街並みを生かしながら、何かしら観光施策にもうまく取り入れられるような形でできたらと思っております。この辺のゾーニングとか、開発環境、景観の損失を防ぐための開発抑制のためのゾーニングとか、この辺をやっていく中で、これある意味、民間活動の民家の経済活動になると思いますけれども、その辺に対するゾーニングしたからと云々の効力といえますか。その辺の見解を伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

ゾーニングをしたからと云って、法的にとめられるということではないかと思えます。やはり個別法の中でいろんな開発申請の中での法律もありますし、先ほど申しあげました農地法、農業振興法とか、そのような中で、景観条例も含めてなんですけれども、縛りが出てくるのかと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2 番上原祐希議員。

○ 2 番 上原祐希 議員 結構、恩納村とかは戦略的にしっかりと沿岸整備というのを考えられているなと思えます。すごくやはり観光地としては、先進地でありますので、しょうがないところでもありますけれども、今帰仁村としても今、赤墓とかもですね、本当に SNS 一つで一気にお客さんが押し寄せるような状況等もありますので、その中においてやはり意図しないものができたりとかということは、今後も考えられるので、その辺はやはり海岸沿いとか、特にやはり県外とか、そういう事業課からすると、魅力的な土地というのが結構、今帰仁村はまだまだ残っていますので、その辺の景観をしっかりと守りながらの村の観光振興というのをまさに目指しているところだと思いますけれども、その辺をぜひルールづくりの中で何とかやっていかなければいけない課題なのかなと思っておりますけれども、その辺の見解をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

村にはご承知のとおり、景観条例が制定されておりますけれども、その中で色であったり、高さであったり制限があります。それでまずは調整できるところは調整し、また個別法でも調整していきたいとは考えています。しかし、議員おっしゃるとおり、先ほど申し上げましたルールづくりに関しては、地域住民が中心とならなければならないと考えておりますので、それを踏まえて、守るべきところは守ると、景観に関しても配慮した開発を進めていくと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 まさに今帰仁村の観光振興のあり方といいますか、基本姿勢がこれだと思いますので、その理解を村民全体で理解しながら、今帰仁村の観光ビジョンはこれなんだということで進めていくことが重要だと思っております。そういうものを浸透させる取り組みも、ぜひ今後もやっていただけたらと思っています。

時間ありませんので、この中で重点プロジェクトの中で、ビーチの環境及び景観保全というものがありますけれども、その中でやはり観光客の流入というのは、結構やはりビーチでは多いと思いますけれども、なかなか数の把握は難しいだろうと思います。その中で海の中に入るレジャー、これは海の上でもサップとか、レジャー業者が扱っている観光体験というものは、ダイビングであったり、そういうものはある程度、把握するすべはあるのかと思っております。その辺環境保全といえ、やはり海に入る入域観光客数が多ければ多いほど、自然環境にも影響が出てくるものと考えますので、その辺の把握は必要だと思っておりますけれども、その辺は村としてどのように取り組んでいくか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 質問に対しまして、説明いたします。

そういった海に入るというところに関しては、やはり専門であります漁業組合の協力を得ながら、またそういったショップが観光協会なり、商工会に加盟しているのであれば、そのような情報も提供していただきながら、あまり勝手といいますか。今帰仁村に合った観光の仕方といいますか。そういったものも、ルールの中でつくれていけたらと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 やはりこの海や自然景観を守るといっても、実際に具体的に行動を起こす必要性はやはりあると思いますので、守るための具体的な施策、その辺はぜひ考えていただけたらと思っております。

これは以前にもお話をしましたけれども、国頭3村、世界自然遺産登録に向けた取り組みの中で、県の専門家とか、さまざまな方を招集して、協議会をつくって、認定ガイド制なり、この観光地域によっても、ランクづけをして、この地域は入れない場所とか、ここだったら入れますよというランクづけを明確にして、この認定ガイドの質によっても、いける場所もしっかりと明確にしております。その観光地に入るにあたって、しっかりとした観光事業者からの申請が必要で、しっかりと取り組んでおります。そうすることでやはり観光入域数をしっかりと把握できるし、コントロールすることもできる。という取り組みをし

ております。やはりこの辺、自然というのを守るためには、そういう動きもぜひ具体的に必要だと思えますので、やはり観光協会とか商工会、そういう事業者の把握をしっかりとやっているもの。商工会、観光協会との連携というのは、まさにおっしゃるように重要だと思いますので、今後もしっかりと施策の中で生かしていただけたらと思っています。

また海の保全でありますと、赤土対策もやはり海の中の資源を守るためにも必要なものだと思いますけれども、これ先日も質疑したんですけれども、やはり事業がことしで終わってしまうという中で、まだまだそういう赤土対策自体の実施はされていないという状況でありました。それを県にも働きかけていくということでもありますけれども、村独自でも何かしらやはりそういう環境整備に充てられるような財源確保というのは、必要ではないかと思っています。

環境税とか宿泊税、前に私もそういう話もしたんですけれども、まさに県とかもそういう動きをしていますので、例えばマリンレジャー業者とかの利用料の中に、そういう環境資源を守るための資源、財源を幾らか負担してもらったり、ホテル事業者の宿泊代に、多少幾らか入れてもらって、そういう今帰仁村の観光資源をぜひ守るために必要な財源として使いますよということで、理解していただければ、もしかすると使い方によって、観光客がふえることで、今帰仁村の自然環境がもしかしたらよくなる可能性もありますし、そういういい循環を生むような、仕組みづくりというのでも考えていく必要があるのではないかと思いますけれども、その辺の見解をお伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 3 時 22 分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 3 時 23 分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

まず先日もありました赤土対策については、現時点でしっかりと要望している状況でございます。きのう申し上げましたけれども、現在アンケート調査がきている状況でございますので、その中でまだ県のほうは決まっていない状況です。それを踏まえて、他市町村とも連携しながら、しっかりと要望はしていきます。

あと、村独自の取り組みとしましても、先ほど利用税とか、伊平屋でいえば入島税とか、そういったものも可能性があれば、担当課と調整しながら進めていこうとは考えております。ただそれがトラブルのものととか、そういったものが出るようであれば、検討はしなければならないと思いますけれども、一つの議員の提案ということで承って、課題としたいと考えてはおります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2 番上原祐希議員。

○ 2 番 上原祐希 議員 ぜひ竹富島でしたか、そういうところとか、あと離島はやはりフェリー代にそのまま加算してやっているところも結構ありますけれども、今帰仁村の場合はそうもいかないもので、やはりホテル事業者と、そういう宿泊事業者に協力依頼をすればというちょっとした考えでありました。

続きまして、重点プロジェクトの 3 番に行きたいと思いますが、その中で外国人観光客への受け入れ強化ということで、クルーズ船とかも触れていますけれども、先日のコミュニティセンター、県を招いての勉強会の中でも、やはり那覇とかですと、やはり伝統芸能を披露して、そういうのを見ることがや

はり一つ大きな観光資源になっているということだったんですけれども、なかなかこう本部、北部圏域なかなかそういうところを事業者が提供しているところが見当たらない中で、グスクのイベント広場とか、クルーズ船というのは、いつ来るというのはわかりますので時間帯まで、この辺のツアーを組む中でこのイベント広場で伝統芸能とかを披露できるようなものをツアーの中に組み込めば、収益としても事業者にも入るような形をうまくつくっていければ、城跡の魅力にもつながりますし、いろんな観光資源としても使えるのではないかと考えているんですけれども、その辺の見解をお伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

名護市、本部町と今帰仁村、あと有識者の方々を踏まえ、財団を踏まえなんですけれども、本部町周辺地域魅力向上調査ということでの検討委員会が2回開催されましたけれども、その中での意見として、しっかりとした協議会を立ち上げて、要望していくのがまずは重要ではないかということでありまして、寄港いたします本部町を中心に、名護市、今帰仁村、本部町が中心になって、協議会を立ち上げて要望していかなければ、大国、中国の方々がつくった免税店とか、そういったところに流れて、全く地域には素通り観光で、内々の中で経済が回って、実際は何も落ちないということも事例の中で発表がありました。なので、しっかりとした協議会の中で条件をつけながら寄港する本部町を中心に、要望しなければ、そういったことになるとありますので、議員がおっしゃるとおり、観光資源でございます今帰仁城跡、それを活用したものも要望しなければ、素通りになってしまうということでもありますので、その場でも私も委員でありますので、要望は伝えております。小さな市町村の中ではなかなか大きな会社に意見をしても、スルーされるということもありますので、協議会をもって進めていけば、課題は出ておりますので、踏まえてしっかりと地域に経済が循環するような仕組みを要望していければいいということではありましたので、それを踏まえて要望していくと考えております。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 ぜひこれも後で触れようと思っていましたけれども、やはり推進協議会、それは絶対に必要なので、ぜひ具体的に動いているということでありましたので、そういうものを早目に立ち上げて、具体的に何かしらオプションツアーなりで落とし込めるような形でやっていただけたらと思っています。

これはJTBに確認しましたら、JTBがそういうオプションツアーを統括してやっている代理店になっているということです。ぜひ地元から、そういう地元ならではの観光スポットとか、そういう観光メニュー、提案があることは、逆に嬉しいということでありました。本部町はJTBもう既に交えて、勉強会等も開いて、そういうふうな動きをしていますので、まさにこういう特に本部町、今帰仁村、名護市は距離感があるといっても、一つになってぜひ進めていければ、より効果的な事業になると思いますので、進めていただけたらと思っています。

続きまして、観光重要プロジェクトの4番の中で、やはりお土産品とか、そういうもののニーズとかも調査していくとありますけれども、ニーズ調査の実施等、今どのように行っていくか。ちょっと考えなどがあるのであれば、伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

重点プロジェクトということで掲げておりますので、先ほど與那嶺議員からもありましたけれども、そういった核となるようなお土産といたしますか、もし可能であれば社会教育課長からもありましたけれども、協力ということも考えております。

またありきたりのお土産ではなくて、商工会とか観光協会の中で推進主体もそうなっておりますので、調整しながら進めていきたいと考えております。ただ今、調査をしているかと言われれば、ちょっとできていない状況でございます。申しわけありません。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 ニーズ調査、これの計画自体が2019年度、始まったばかりですので、まだまだそうだろうなと思いましたが、この辺もやはり専門業者が結構おりますので、そういうところとも関連しながら、ぜひやっていただけたらと思っております。そういうニーズをもとに、今後商品開発も行っていきたいということでありましたが、商品開発をするに当たって、今帰仁村は農産物も豊富でありますけれども、農産物を加工したそういうお土産品とかも、まだまだないのかなと思っておりますけれども、その辺どのようにお考えか、伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問について、説明いたします。

以前に村長のほうが、お答えになったかとは思いますが、地域おこし協力隊、その活用も総務省の事業が計画のうちに、もし活用できるのであれば、それも前向きに検討していきたいと考えております。

また、ふるさと納税の中で、商工会の委託費の中に、返礼品開発というの組み込まれております。そのあたりも十分活用していただいて、あとは中小企業の事業等も商工会のほうで募集をかけたりとかしておりますので、その辺の商工会にもお願いをいたしまして、情報提供していただくとか、それを踏まえて、そのプロジェクトに向けて進めていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 地域おこし協力隊とかも活用しながらということでありました。これも同僚議員からもいろいろと要望もある中でありますので、ぜひ活用していただければと思っております。まだまだ観光をけん引するような人材が不足しているという声も出ておりますので、それはもうぜひ、そういう特化して、そういう方が来ていただけたら、まさにいいのかと思っておりますので、あと商品開発、そのふるさと納税の返戻とかでもやっているということでありましたが、その中で例えば加工場とか、そういった箱物をつくるにしても、いきなり多額の投資は難しいのかと思っております。その中でアグリパーク、名護市にあるんですけれども、そこのアグリパークの中に加工施設が入ってまして、そこはレンタルといたしますか。レンタル方式で時間制で借りられるんです。そこで試作を事業者がつくっていったら、ある程度、結果が出そうなものを商品化するには、また別の事業を使って、商品展開したりとかしているような施設があります。そういうところでしっかりと試作品なりをつくっていったら、いきなり物をつくるのではなくて、結果をまず出す、まず第一段階で、そういう動きというのは必要になってくると思います。

けれども、そういう施設を活用するに当たって、そういう開発事業に関する支援等は、村として可能かどうか。お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問について、説明いたします。

今、おっしゃられたアグリパークでのレンタル方式等々、非常に参考になる内容でございました。それを踏まえて持ち帰って、少し検討したいと考えております。

また以前、行いましたふるさと起業家支援事業、クラウドファンディングを使ったこれも進めて、現在頑張っておりますので、それを受けた方々が、それも応援しながら進めていきたいと考えています。なるべく情報を収集して、可能な事業があればまた、その事業で進めていけるようなことがあれば、積極的に導入していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 ぜひ観光お土産品といっても本当にヒットするものをつくるのは難しいと思います。それを初期投資を多くするのではなく、さまざまな形でいろいろと策を練りながら、ある程度成果が出てきそうなきには、そういう費用対効果を見込んで、そういう施設をつくるのも手だと思いますので、そういうふうな形で、ぜひ支援していただけたらと思っております。

続きまして、重点プロジェクトの5、これの中で古宇利島に設置する観光案内所、今回つくるといいますけれども、その中にも入っていますけれども、ワンストップサービスの実施ということで、そこは総合案内施設だと思いますけれども、観光案内所だと思いますけれども、そこにぜひ観光協会が観光事業の情報発信とか、そういうものは核となってやっていくべきだということで、もう既にありますけれども、そういう施設は、ぜひ観光協会が今、コミュニティセンターの下にありますけれども、古宇利のそういうまさに地域で、観光協会があって、案内するべきだと私は思いますけれども、その辺どのような考えがありますか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後3時39分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後3時40分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

今回、古宇利の観光拠点施設を整備するわけでございますけれども、その中に観光案内所は設置する計画でございます。そこで観光協会のほうにも協力していただくというふうに考えております。

あと、今年度から、観光協会が委託して、民泊の事業を受ける体制を整える誘致活動をするという着地型の観光を促進するという目的で事業導入に一括交付金を使って導入する予定でございます。

もちろんSNSとか、そういったツールを使った中での情報発信も重要かと思いますが、まずはここで今帰仁村のよさを肌で感じてもらって、リピーターとして、また来てもらうというのも一つの戦略ではないのか、施策ではないのかと考えております。ですので、おっしゃるとおり、核となる観光協会には、しっかりと活動していただいて、十分村のピーアールになるような成果を出していただいて、名指しいただくことを願っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 古宇利の今これからつくるそういう施設、そこはたしか指定管理になると思いますけれども、そこをぜひ総合案内所も管理しながら、観光協会が入っていけば、観光協会の財源の強化にもなりますし、まさに県の一括交付金を活用して今、村もバックアップしていますので、ぜひ観光協会の自立に向けた強化ができれば、より民泊以外の本当に今婦仁村の観光振興に対する動きも、もっともっとできるのかと思いますので、ぜひ連携していただけたらと思います。

続きまして、③のブロードバンド事業について、質問をいたします。

これは北部広域の事業だと思いますけれども、これ事業費、幾らほどになりますか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 2番上原祐希議員の質問について、ご説明申し上げます。

令和元年度北部広域市町村圏事務組合のほうで手掛けます、北部広域ネットワーク機能強化事業についてですけれども、令和元年度の総事業費としましては4億400万円ということでございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時43分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時44分)

2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 予算がどれほどのものかわからないということで理解いたしました。この事業でどのような施設整備ができるのか。

これは多分、光ケーブルを通しての事業ではないのかなと無線形式なのかと思ったんですが、その辺の事業内容を伺います。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質問についてですが、これはワルミ大橋経由で古宇利島を通しましての光ケーブルの延伸ということになっております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時45分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時46分)

2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 しっかりと有線で来るということで、それなりの容量も担保されていると思いますので、少し安心しました。これふれあい広場まで来るのは、事業が決まったということで大変うれしく思います。これは昨年、村長初め村の要請行動とともに、議会でも議会決議をして、一緒に要請行動をしてまいりましたので、その成果が早速出たものだと思いますし、議会としてもありがたいことだと思います。これに関して、古宇利区内に広げていくための事業も必要になりますが、やはり重要だと思いますけれども、その辺の今、どのような形で進めていくのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時48分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時48分)

謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 これは私のほうから、お答えします。

今回は北部広域圏のネットワークの整備ということで、このふれあい広場までということで、北部広域圏のほうにも、その外周まで全部回せないかという要望は、何度かはしたんですけれども、その事業の中ではその施設のところまでということで、その波線といいますか、支線まではその事業の中には入らないと、ほかの地域でもそういうことはしていないということでお答えが。何回か要求はしたんですけれども、今後民間とか、まずそこまで幹線が来ることによって、ほかの民間企業も動き出す可能性はあるのかということで、こちらは考えております。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 この事業が12月からの工事着工ということでありますので、残り数か月でこの古宇利の完了年度、完了は大体いつごろを想定されておりますか、お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質問について、ご説明申し上げます。

去る8月16日には、北部広域市町村圏事務組合の第1回幹事会の資料に、村の事業の大まかなスケジュールが載っておりまして、これは古宇利大橋から古宇利島までということで、12月からはじまりまして、大体2月末までの工期ということでスケジュール表が提示されております。2月末ですね。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 2月末までには、橋詰広場まで来るとということで理解いたしました。やはりそこからさらに広げることが重要だと思いますけれども、まだちょっと決まっていないということで理解いたしました。

この辺もちろんNTTとか、関西ブロードバンドとか、さまざまところにはあたっていると思いますけれども、今もう既に交渉はしているのかどうか。この延伸について、見積りをとったりとか、そういうことというのは、どんなですか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質問について、ご説明申し上げます。

今、村として、古宇利島内をはわすようなところを計画という形で今、具体的に持っているかということでは、具体的には持っていない部分でありますけれども、以前に提案いただいていた関西ブロードバンドがございました。関西ブロードバンドにも、島内でのニーズ調査はどうなっているのか。どれぐらいのニーズがあるのかということも、やはりあちらも事業者として採算のとれる事業であるのかということもあると思いますので、そのニーズ調査についても、お願いしていた経緯がありますが、それについても今、ご報告いただけていない、情報がいただけていないという状況であります。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 関西ブロードバンドは、一応見てみますと、結構無線で飛ばすことに特化している企業だと思っておりますけれども、それだと容量の問題としてどうなのかというところの懸念がありまして、前にNTTに確認したときに、古宇利島までのこのイニシャルコスト、それさえやっていただければ、その後の延伸はNTTとしてやってもいいという話が前にあったような気がしたので、その辺、NTTにも話はやっていると思いますけれども、どのような状況か、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 3 時54分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 3 時54分)

謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 今の古宇利島に支線を延ばすというのは、まず古宇利島までこの有線で光が行くということ自体に何億円のお金がかかるということであって、今回その北部広域ネットワークの事業が決定したので、その後民間が動き出すというのはわかるので、村から今、祐希議員がおっしゃっているとおり、NTTとか、この民間企業のほうにもじゃあこの支線を延ばすことができるのかというもののアプローチはかけていきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 3 時55分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 3 時55分)

2 番上原祐希議員。

○ 2 番 上原祐希 議員 ぜひ有線でせめて外周はしっかりと有線でやることで今後、小中跡地とか、そういうところにも大きなホテル施設ができますし、今後もしかししたら裏側とか、大型ホテルとかの話とかも情報としても出てきたりするので、そういうときにやはり何百室というホテルがもしできた場合に、やはり各部屋でしっかりとWi-Fi環境が整っているというのも今は当たり前の時代の中で、それが整備されていないと、変な話、インバウンドのお客様はまず泊まることから、既にやらないという状況でありますので、それはぜひしっかりとした容量で整備できるように要望いたします。

続きまして、ツマジロクサヨトウの防除策について、お伺いしたいと思います。

これは県の対応として、今植物防疫法第29条第1項に基づく措置を行うということでありますけれども、その内容をお伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

植物防疫法第29条の中に、有害動物または有害植物が蔓延して、有用な植物に重大な損害を与えるおそれがある場合において、これを駆除し、または蔓延防止をするために必要があるときは、都道府県は植物を検疫し、または有害動物、もしくは有害植物の防除に関し必要な措置をとることができる。ということがあります。なのでそれを踏まえて、県のほうが現時点、国との協議により、選定した農薬を使用した防除などを早期に実施するということは伺っております。もちろん対応についても、県のホームページにありますけれども、国と連携して初動防除を実施しますということであります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2 番上原祐希議員。

○ 2 番 上原祐希 議員 初動防除の徹底ということで理解いたしました。これは農水省とかからも、さまざまな事業が出ていますけれども、その辺を今、農水省からの助成として、防除に対する助成として、例えば畜産関係とかであれば、牧草とかにもこれは十分入ってくるだろうと。既に海外ではそういう事例もありますけれども、そうなった場合に、消毒とかで防除すると、その飼料は使えなくなりますので、そういう飼料に対しても措置はあると思いますけれども、その辺の情報として、農家とかでもしっかりとまず農家レベルがしっかりと認識をしないと、これの防除はまず無理だと思いますけれども、

その辺の連携はどのようになっているか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 質問に対しまして、説明いたします。

連携についてでございますけれども、担当の職員が今、細かく農家を回っております。また和牛改良組合、もしくはJAの担当者とも連携をしております。畜産試験場も確定ではないんですけれども、その似たような被害が出ているということも、きのう、おととい、情報がありました。ただこれがツマジロクサヨトウであるかどうかというのは、確定されておられませんので、現時点の今帰仁村での報告はないということでの、村長の答弁でございました。

議員おっしゃる農水省の補助、助成、その件に関しても、県のほうから確実な通知がございませんので、もしそういった通知が来るのであれば、早急に取りかかって、どのような対策をすればいいか。もしくはどのような支援ができるかということも周知していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 このツマジロクサヨトウは、繁殖力も驚くほど高いということでありまして、一晩で100キロぐらい飛ぶということでありました。これは2016年アフリカで発生して、ジンバブエという国では、70%の作物が被害に遭って、7,000億円ほどの経済被害が農産物であったということでありました。これも恐ろしい、本当に甚大な被害を与える虫だと思っております。これが繁殖力が非常にすごいなと思ったのが、ことしの1月に中国で初めて見つかって、6月には台湾に来ているんです。7月には鹿児島に来ていると。その間の沖縄には100%、もちろんその時点では来ていたはずなんですけれども、7月3日の前にも、この辺のやはり認識、これだけの危険な害虫だという認識が、まだまだ弱いのではないかと思っております。台湾では既に500カ所に観測装置とか設けて、専用のSNSとか、通報ダイヤルとか、さまざまな措置を徹底してやって、スマホでのそういう通報アプリとかも、全て網羅して、今、根絶に向かってやっているそうです。

見つけた人の情報で、報償金まで出しているんです、国として3万円弱だったと思いますけれども、それぐらいやはり危機意識を台湾は持っていて、農地ごと焼却処分したりとか、埋め立てたりとか、徹底した防除対策がとられているんですけれども、その辺認識がまだまだ初動が遅いのかなと思っているんですけれども、この辺はぜひ、こういう危険性をもうちょっと周知していけたらと思うんですけれども、この辺そういう台湾とか、海外の事例も踏まえた県からの対応とか、そういう話はないのかですね。お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問に対しまして、説明いたします。

おっしゃるとおり100キロ、1日で移動するということは、県の防除センターのほうからも確認したら、ありました。現時点、今北限が恩納村、沖縄県の場合での報告でございますけれども、去る新報ですか、マスコミによりますと、石垣島にも出ていると。サトウキビにも入っていますし、本部町でも牧草地に関しては全て全滅状態だということも聞いております。まずは牧草ですので、なかなか農薬を散布するわけにはいきませんが、早目の刈り取りをまずは県のほうは推奨しておりまして、刈り取ってからは新

芽が出たということも聞いております。なのでなるべく早い刈り取りは、担当のほうから農家のほうには伝えております。

おっしゃるとおり、以前にもアフリカシロナヨトウという病害虫が似たようなものなんですけれども、これも異常発生したということも聞いております。それも踏まえて、そのような事例もございますので、今回に関しても、なるべく早く農家のほうには周知していきたいと。畜産農家だけではございませんので、耕種農家も含めて園芸されている方に関しても、なるべく早い周知をＪＡとか、生産団体を含めて周知していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ２番上原祐希議員。

○ ２番 上原祐希 議員 ぜひ、ほんとうにさまざまな作物に被害を与えているという状況だと聞きましたので、もう既にサトウキビには被害が出ているという情報も入っていますので、ぜひ徹底した対策をとっていただけたらと思っております。

ウリミバエでしたが、ミバエが繁殖、最初に入りだしたときの初期対応が遅れたおかげで、その後、莫大な労力と費用もいっばいかかっておりますので、それを鑑みても初期の徹底した対策が必要だと思っております。これはなかなか農薬にも耐性が強くて、防除ができないぐらいの状況で、アフリカでもあったということでもありますので、ぜひ有効なものはもう既に研究されていると思いますけれども、それを情報をいち早くとって、今帰仁村でもしっかりと農家だけではなく、さまざまな人に周知もしながら、本来やらなければいけないものだと思っておりますので、その辺の認識をもってぜひ、根絶に向かってやっていただけたらと思います。以上で終わります。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後４時０６分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後４時２１分)

次に、嘉陽 崇議員の発言を許します。11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 先に通告したとおり、一般質問を行います。

質問事項１．北部テーマパーク開業について。

質問要旨、去る17日付の琉球新報に、オリオンビールやリウボウ、近鉄ホールディングスなどの沖縄県内外の企業で構成する「ジャパンエンターテイメント」が、沖縄本島北部で計画するテーマパーク事業の総事業費が500億円から600億円規模になり、また約2,000人を雇用する計画があることが、複数の関係者への取材で明らかになったと報じられていました。テーマパークの開業が計画通りに進むと、約5年後の開業ということで実現すると、今帰仁村への経済効果は相当に期待できるものと考えられます。そこで、次のことを伺います。

(１) 今年の３月議会以降、テーマパーク事業に参入予定の会社側から、村に対して事業説明があったかどうか。もしあったとすれば、その概要を伺いたい。

(２) 今帰仁村は、テーマパークを積極的に誘致していく考えはあるか。

以上の２点を伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問事項１．テーマパーク事業についてお答えします。

質問要旨の（１）テーマパーク事業の村への説明とその概要については、令和元年７月29日に「株式会社 刀」から村への事業概要の説明がありました。

計画の概要は、嵐山ゴルフ倶楽部用地を改修し、約64ヘクタールの施設面積で、主に森林を活かした体験施設を整備するとのことでした。その後、９月４日に再度同社より説明があり、嵐山ゴルフ倶楽部との土地賃貸借契約の進捗や地元説明会日程等の説明がありました。

質問要旨（２）テーマパーク誘致については、具体的計画が示された段階で、村として対応を考えていきます。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 村長の答弁からであります、「嵐山ゴルフ倶楽部との土地賃貸借契約の進捗状況や地元説明会の日程等の説明がありました」とありますが、土地賃貸借契約というのは、いつごろからいくとか、そういった詳しい説明があったかどうか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの11番嘉陽 崇議員の質問について、説明します。

先ほど村長のほうから答弁がありましたとおり、まずは計画概要と、オリオン嵐山ゴルフ倶楽部との土地契約でございますが、９月４日時点の説明の中で、ことしの８月30日にオリオン嵐山ゴルフ倶楽部と賃貸借契約の契約を締結したと説明を受けました。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 既にもう賃貸契約の締結は済んでいるということで理解いたしました。新聞で報道されるのと、実際に説明、役場のほうに来て説明された内容と、食い違っていたりとか、過大な数字があったりとかもしたりすると思うんですが、集客数はどのぐらいの規模を見込んで、予定しているという説明があったのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

先ほど９月４日の直近での説明でございますが、そのときには初年度の入場者数は230万人程度を見込んでいるという報告でございました。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 約230万人、初年度に集客予定しているということで理解しました。

この嵐山ゴルフ場跡、このテーマパークにすると、水についての問題が出てくると思うんですが、相当量の水を使ったりすると思いますが、その水についての説明などがあったら、詳しく説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 11番嘉陽 崇議員の質問に対して、説明いたします。

水に関しては、前に話はありましたが、まだ確定ではないので、今後正確な計画書をつくった時点で、検討していくということで一応、話は通っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後４時29分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後４時30分)

11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 ただいま水について質問しましたが、井戸水も使用していると聞いているが、井戸水を使用したりして、現在の水量で足りるということであるのか。説明があったのかどうか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後4時30分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後4時31分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

水に関しては概算であります。村の水は1日750トン、概算で使いたいということであったんですが、村としては、今、呉我山の下からポンプアップで嵐山ゴルフ場に上げております。水道課と調整したんですが750トンだと到底足りないと。村としても厳しい状況があつて、今後、先ほども申し上げましたけれども、計画書が出た時点でまた再度、構造なりタンクをつくってもらなりして調整をしていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 この計画の概要は、ゴルフ倶楽部の用地を改修し、約64ヘクタールの面積を利用するということで書いてありますが、120ヘクタールのうちの64ヘクタール、この計画の中に、名護市側を使う予定であるのか。今帰仁村側を使う予定であるのか、説明があったのかどうか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

現在の嵐山ゴルフ場の総面積が約120ヘクタールでございます。その120ヘクタールは名護市を含めての面積でございますが、そのうち今帰仁村の面積としては約100ヘクタールが、今帰仁村の現在のゴルフ場の面積でございます。今帰仁村の面積の中のうちの100ヘクタールのうちの64ヘクタールを使つての事業計画をするということでございまして、名護市側のほうには、現在計画は張りついていないという状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 今帰仁村側ですね。全て今帰仁村側の64ヘクタールを使用するということで理解いたしました。

排水についての説明があったか、伺います。排水処理については、環境アセスメントにも大きな影響が出てくると思いますが、現状ではどこに排水が流れていくのか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明します。

現在、事業者から現在の計画段階においても、環境配慮書というのが提出されていまして、さらに交付されています。その中の施設の排水の予定としましては、先ほど今帰仁村側の面積を使うということと、その流域としましては、大井川流域が全てでございますので、呉我山の中山原になりますけれど、現在のゴ

ルフ場でも一緒なんです、その施設の一番流末のほうに調整池をつくって、放流というふうに予定されています。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 排水は、今帰仁村大井川に流れていくということで理解いたしました。今、先ほど配慮書について、環境配慮書からの説明云々ありましたが、この配慮書というのは、環境アセスメントの前の段階だと思うんですが、こういった環境アセスメントの説明、いつごろまでに終わるのか。今後のタイムスケジュール的に環境アセスメントは、どのぐらいの期間を要するのかとか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

この環境配慮書でございますが、まずこの計画につきましては、来年のたしか6月ごろまでと伺っております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後4時36分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後4時36分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、再度説明します。

環境配慮書、環境アセスメントに係るものでございますが、来年の6月までと伺っております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 続きまして、質問要旨(2)のテーマパーク誘致については、具体的計画が示された段階で対応を考えます。とありますが、この具体的計画とは、何を考えて、何と比べて、具体的計画、この具体的計画は何なのか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問にお答えします。

「何と比べてか」ということでございますけれども、ほかに比べているということはありません。今回向こうのほうから、2回話し合いを持ちまして、私は9月4日の説明のときに参加しましたけれども、このテーマパークというのは、「具体的には、どういう内容ですか」と私のほうから、「例えば、ディズニーランド的なものですか」とか、いろいろと聞きましたけれども、「まだ決まっていません」と、「自然を生かしたテーマパーク」ということで、自然を生かしたということは、具体的にはどういうことですか」と言ったら、それは全て今の地元説明会、きのうの新聞報道によりますと、呉我山また今月は湧川とか、あるいはまた先ほど課長からありましたように、環境配慮書ということを今、進めている。村としては、そういう対応であって、「自然を生かしたテーマパーク」ということしか、具体的には解釈はありませんので、この内容によっては、また呉我山、湧川地域の方々の同意が得られるか。またいろいろとありますので、ただ村としては今の段階では、具体的にはこの内容がどういう計画であるのか、十分把握しないで、村がすぐに「対応をどうする」ということは、言えないということでもありますので、向こうから出された具体的計画によって、また村と協議するということが水の問題、道路の問題にかかわってくると思いますので、対応したいという、先ほど答弁したとおりであります。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 8月4日、新聞にも載っていたんですが、公告縦覧配慮書がマスコミ等にも見れるようになっておりますので、そこからマスコミは公告縦覧をして情報等を得て、新聞に載せていると思うんですが、これは村にも届いていると思います。計画段階環境配慮書の中には、計画としてどの場所にどういったのを建てる予定である。そのためには環境影響、どのぐらいの影響度があるのかとか、そういった計画も載っているわけです。具体的な計画が示されていた段階ということであるんですが、私はこれは具体的計画であると思うんですが、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 先ほど申し上げましたように、これに提示されていることですが、私はこれにまだ目を通していません。この間、会社の代表ですね、オリオンビールの会長と刀の会社の方が二人、三人見えまして、2回ほど「具体的にどういう計画ですか」と、聞いたら「自然を生かしたテーマパーク」としか、私には答弁しておりませんので、具体的計画というのが、私としても把握しておりませんので、先ほど答弁したとおりであります。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 具体的な内容把握はしていないということではありますが、環境アセスメントというプロセスを通らないと、建設や開発許可はおりないと思いますが、環境にどういう影響があるのか。きちんと見ましようという中、最初のステップが配慮書というのを今回、役場にも提出したのを出して、それを地元の方にも見ていただき、地元市町村長にもチェックしていただいて、「今回の調査、環境アセスメントの進め方について、何かご意見はありませんか」という意見を聞くというプロセスを、8月、9月に行い、そのときに住民説明会をやる予定であるということを知っているが、村として配慮書の内容についてどう考えているのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

この配慮書もそうですが、企業からの説明の中でも体験施設としては11施設は考えているという一覧表にはあるんですが、具体的にこの一つ一つの施設がどんなものであるというのは、全く明示されていないという状況でございます。

一つ一つの体験施設が自然を生かしたということで、先ほど村長からも説明があったとおりなんですが、自然を生かした体験施設ではあるんですが、その体験施設がどんなものであるかというのは、全然具体的に提示されないといえますか。企業としてはテーマパークなので、先にどんなものをつくり出すというのは、公表したくないという意図もあるかと思います。その辺も踏まえて、まだ具体的に村にも提示されていない状況でございますので、村としても誘致に関して積極的にできない状況というふうに、ご理解いただきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 具体的な内容がまだわからないということではありますが、具体的な内容計画が示されていないのに、環境アセスメントが進んでいると理解しているのか。環境アセスメントをやりま

すということなんですから、これから何をここに建てて、建築許可をとったりとか、開発許可をとったりしていくわけなんですから、これが計画じゃないというのが、そう理解していないというのが、ちょっと信じられないといえますか。これは計画ではないのでしょうか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後4時44分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後4時45分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 先ほどの質問について、説明いたします。

この環境配慮書を申し込んだんですが、企業からの事業、施設の概要ということで例示されておりますが、その中では体験施設が11施設はあるんですが、その体験施設が具体的にどのようなものであるかというのは明示されていないという状況でございます。

そちらにつきましては、まだどんなものを施設数は大体10個ぐらいということではあるんですが、これもまだ確定的なものではないと説明も受けておりますので、中身の一つ一つがわからないという状況がございますので、まだ具体的ではないというふうに。それからまだ計画段階ですので、企業としてもまた今後、計画を詰めていく中で具体的になってくるものだというふうに考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 企業側としては、オープン、開業までどういった施設なのか。外にも隠しておいて、オープン、開業したらどっとみんなに見せて、盛り上げていくようなことも聞いておりますので、そういったことであれば、役場側に具体的な説明、これが具体的な説明と理解しているのであれば、いつまでもたっても具体的説明を受けていないとなってしまうのではないのでしょうか。これこそ具体的な説明を環境影響度調査を行うということですので、説明は済んでもうスタートに取りかかっている状態だと思うんですが、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後4時47分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後4時48分)

11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 3月の定例会で、私の質問に対しまして、村長は「地元呉我山、湧川区の意見を聞いてから誘致するかどうか、判断したい」という答弁がありましたが、その後地元の意見を聞いたかどうか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質疑について、説明します。

3月議会が終って、地元の意見を聞くということですが、地元の意見を聞いて、私がこれについて、すぐ「賛成」「反対」ということで、「反対」ということでなくて、「誘致するかどうか」ということだと理解しておりますけれども、私はそういう答弁をしたということは考えていません。この具体的な計画が出て、それがこの例えば呉我山とか、湧川とか、村の行政区域だと、これどういう影響があるのか。あるいはまた地域の方々が、この事業について雇用とか、あるいは村の税収とか、そういう面でプラスになるということで地元、一番またこれがもしできた場合、道路が、交通量もふえると思いますし、メリットも

デメリットの課題も出ないとは限りませんので、そういう意見を聞いて、最終的に水の問題、それから道路の問題がありますので、判断するというふうに私は答弁したと理解しております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 3月の定例会での答弁は、後で議事録を確認したいと思います。

ゴルフ場を閉めるのは、先ほど環境アセスメントが1年後ですか。ということで、ゴルフ場を閉めるのは2年後ということで伺っているんですが、環境アセスメントを実施している期間は、閉鎖はないと伺っています。2年間は営業を続ける予定だと。2021年の夏から秋にかけて、その後開発許可があったり、建築確認申請といった許可が順調にいったとして、さらに3年後、2024年末か、2025年に入って春、これから約5年後にオープンを予定しているということで、今準備を進めていると伺っております。2年後からはゴルフ利用税が入らなくなる予定ということですが、村への収入としての財源として、これは依存財源、ゴルフ利用税がなくなってしまうということですが、村として、それに見合う収入が入ることを考えていかなければならないと考えますが、村長の見解を伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

現在のゴルフ場の利用税が村の収入になっているわけですが、ゴルフ場として営業している範囲内では、その収入があるかと思います。ただゴルフ場としては、閉鎖された後はその計画どおりにいけば、建築工事が進んでいってということになるかと思います。その中ではその施設の固定資産税であったり、雇用者の給与所得といいますか、そういった形で村税に期待できる部分はあると考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 今の答弁ですね。ゴルフ場利用税がなくなったとしても、固定資産税やここで働く人の収入があるから、期待しているということを答弁いただきました。このゴルフ場利用税、この間出たんですが、平成30年度1,500万円を9割補助の事業を入れると約1億5,000万円ですよ。それぐらいのお金が今後、2年後にはなくなる、入ってこなくなる予定であるというわけです。固定資産税というのは、これまでどおり入ってきているわけです。向こうで働いている人の所得税、そういったものも入ってきているわけです。この1,500万円、これが丸々なくなるということであるので、それに見合う収入が入ることを考えていかなければならないと考えますが、村長の見解をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

このゴルフ場利用税でございますが、まだ企業によつての計画段階でございますので、まだこれからいろいろ調整が進んでいく中で具体的に natte くるかと思ひます。

ただ、固定資産税が幾らになるのか、従業員数が今婦仁村内で何名雇用されるのかというのは、まだ想定もできない段階ですので、そういった試算はできない段階であると考えております。

○ 座間味 薫 議長 本日の会議時間は、議事進行の都合により、あらかじめこれを延長いたします。

11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 2年後にはゴルフ場を閉めて、向こうがやると言っているわけです。言って

いるけど、じゃあまだ決まっていけないので、これは考えなくていいということですか。もう向こうが「2年後に閉める」と言っているんですから、1,500万円入ってこなくなるわけです。これに対しては考えていかないと、早い段階で考えていかないと、じゃあなくなってから考えるわけですか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

ゴルフ場の運営といいますか、その計画が具体的になればということではあるんですが、「ゴルフ場を閉めないでくれ」という話を、今できる段階ではないと考えておりますので、そのゴルフ場利用税をなくしたくないから、テーマパークに反対するということでもないだろうし、企業の運営の方針でございますので、このテーマパークとそのゴルフ場利用税はリンクするものではないのかなと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 もう一度言いますが、ゴルフ場利用税が2年後にはなくなる予定であると。それに見合うだけの収入ですよ。今から企業と密に連携をとりながら、ほかにも収入が入ってくるような形、そういった話を今からやるべきだと考えます。1,500万円落ちて入ってこなくなると、1億5,000万円の事業ができなくなる。それぐらいのお金ですよ。それを考えているのかどうか、聞いているわけです。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後4時56分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後4時58分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

現嵐山ゴルフ場の年間のゴルフ場利用税でございますが、テーマパークが実質、開所できるという状況になれば、またこの固定資産税であったり、先ほど説明しましたけれども、そこで働く人たちの所得税であったりという部分があるかと思っておりますので、具体的にこの1,500万円がゼロになるのかというと、ゼロではないと想定はできますけど、今の段階としては、計画が具体的にないという状況もありますので、まだそういったほかの税収などの見返りの試算もできない状況でございますので、その嵐山ゴルフ場利用税については、コメントできない状況だと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 具体的にコメントできないという答弁があったんですが、積極的に誘致をして、企業側とも話をして、「じゃあどうしましょう」という対策を講じられると思うんですが、そういった話を早い段階からやっていかなければ、後になって、実際金額にも狂いが生じてくるわけです。金額も1,500万円入ってこなくなるので、そういった早い段階から企業側と連携をとりながら、積極的に誘致していくことができないか、再度、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問について、説明いたします。

「誘致するか」ということですが、私が誘致しない前に、向こうはもう「やる」と言って、計画書は出ているわけでしょう。だから誘致するということは、今ところ、この段階にきて、もう嵐山ゴルフ倶楽部

とも土地の賃貸借契約を結んできているわけです。向こうは「やる」と言っているわけです。

だけど、先ほどから答弁しております村への説明のときに、先ほどの配慮書の話もありましたけれども、私はさっきから言っていますけれども、2回、3回確認しました。「具体的な内容はどういうことですか」と言ったら、「自然を生かしたテーマパーク」ということしか話はしていません。これは私だけではなくて副村長、建設課長、経済課長、同席の場ですから、こういう要請をしてきた場で、「自然を生かしたテーマパーク」と明確に言っているわけですから、だから「具体的にどういうことですか」と、それをこれから呉我山での事業説明がありますから、そのときに先ほどありましたように、水の問題とか道路の問題がありますので、具体的な計画とか、そういうのが出てきた段階で、村としてどう計画に対応するかということを申し上げたいと。そのときに会社としても具体的に出てきた場合は、再度村に来ますということでありましたので、話はそこで終わっているということでもあります。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 マスコミの報道によると、年間数百万人、大きく報じている機関が500万人までと、開きはあるものの100万人以上の集客を予定しているということですが、そうすると、今の道路事情では到底対応できないと考えます。混雑が発生したり、大型観光バスが通ったりと、道路整備が必要になってくると考えられます。そこで事業者側から今帰仁村に対して、農道整備について、どこが対応するのか。協議があったのか、説明があったのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問について、説明いたします。

業者から相談はありました。こちらからの意見としては、農道の整備で、農道だけではなくて、下の県道、湧川、呉我の505、間違いなく渋滞すると。業者からの意見、これだけの100万人、200万人が来ると、農道だけの整備では絶対にいけないということで、話をして、10月から道路コンサルを入れて調査をする。業者は言っていますので、その時点で業者の考えでは、北部だけではなくて、沖縄県の道路が多分、マヒするのではないかと想定していますので、200万人、300万人来れば、この辺はこちらとしての要望です。先ほど水道も言ったんですけれども、調査して整備するのは、どこが整備するかはまた今後の課題だと思いますが、この辺は業者に要望はしております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 今の建設課長からの答弁で、説明があったということはわかりました。今後、負担金が考えられてきたりしていくと思います。負担金としても、名護市と相談をして県に工事の代行をってもらう方法とか、村単独で名護市と連携をしながら進めていく方法、いろんな方法があると考えられますが、今帰仁村にとっても、メリットを考えていかないといけない。今の段階からメリットを考えていかないといけないと考えます。名護市とも相当連携をとらないと、名護市は名護市で「負担を持ちます」と言った場合、今帰仁村は「持ちません」と言えるのかどうか。

名護市は自主財源がたくさん、今帰仁村よりも相当ありまして、そういったことも、名護市は名護市で負担しますということでやるかもしれないです。いずれにせよ、道路整備をしなければ、発表されている観光客数には対応できないということでもあります。渋滞が発生したり、時間帯による混雑など、周辺の地

域の道路事情にも大きくかかわってくると考えられます。先ほどコンサルを雇って、業者側のほうから、シミュレーションをして、「多分この時間帯には、これぐらいの車が来るよ」とか、「この場所が混むよ」とか、そういったのをたたき台をつくってくると思います。じゃあ、たたき台をつくってきた場合には、ちゃんと早目の対応をする必要があると思うが、そういったふうに対応していくのかどうか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

村がやるか、やらないかは、たたき台が上がった時点で、この辺は村が不利にならないように検討していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 向こうの業者が、きちんとした対応をとってきた場合には、村としてもぜひきちんとした対応で考えて、対応していつてもらいたいと思います。

このテーマパークの大型事業が環境アセスメントの時期にきていて、着実に開業に向けて、今、動いている段階であります。そこへの交通アクセスは絶対に必要であります。今帰仁村の振興発展のためにも、非常に有益だと考えます。それを活用するためには、そこへのアクセスを含めて、早い段階からの要請等が必要ではないかと思います。今帰仁村への観光客を誘導するためにも、必要だろうと思います。そのためには、名護東道路を今帰仁村まで引っ張ってくるということは必要ではないかと考えるが、村長の意見を伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後5時07分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後5時08分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。

東道路については、毎年5月、11月に北部市町村会から要望を上げております。今回も11月に上げる予定で、毎年東道路延伸については、要望している状況でございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 北部道路の延伸、北進は要請しているということで、わかりました。

業者は今帰仁村、名護市とも相談していると思うが、あとは県や北部振興事業として内閣府や沖縄県内閣府総合事務局とも密に相談をしていると聞いております。去る5月の臨時会において、副村長自身の就任挨拶のときに、今帰仁村には国に大きなパイプがあると感じていますと。それは前任の中原さんですと。現在中原さんの部署は、内閣府政策統括官沖縄付参事官補佐で、彼は常日ごろ「私のふるさは今帰仁村だ」と、さまざまところで公言しています。と、私自身も、彼がそう言っていることを聞いたことがあります。そういった大きな便りを伝手に、国の政策を注視しながら、県との連携も今後密にし、課長の皆さんはもとより、全職員とともに考え、行動に移し、より積極的に達成できるように頑張っていくと述べられていました。業者に対しても「今帰仁村は積極的だよ」という行動を見せないといけないと思います。お互いに連携をして、今帰仁村が積極的に対応する必要があると思います。あらゆる方法を駆使して

対応する必要があると思うが、内閣府へ業者は官房長官のもとへ、名護東道路の北進の要請を行ったと新聞でも報じられていました。既に事業は発車しています。具体的な事例もないので「大変だね」で終らせないでほしいと思います。ぜひ成功させていきましょう。この計画には夢があります。沖縄の振興計画が来年は大きく、次の10年の策定の時期になるので、そこに何とかこの事業を入れ込むことが、いろんな予算もつけやすくなるのではないかと考えられます。内閣府にいる中原前副村長とも連携できるものと思いますが、村長の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後5時12分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後5時12分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 国道58号、それから名護東線の道路の予定でございしますが、つい先だって、国道事務所から村へ照会がありまして、国道事務所の担当から打ち合わせがございました。その中では今後この名護東道路については、今帰仁村、本部町と連携をしながら、いろんなさまざま地域の計画を吸い上げて、延伸計画を策定していきたいということで、また勉強会から始めていきましょう。という提案もありまして、村としては最大限、協力していきますということでお話をしています。また、議会が終ってからなんですが、今月の24日にはまた再度、調整の予定も日程も組んでおりまして、具体的には名護東線の国道事務所と、本部町と今帰仁村を含めての協議会も、来年度に向けて立てていきましょうという提案があったところでございます。

○ 座間味 薫 議長 謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 中原前副村長との連携、国との連携になってくると思いますけれども、このテーマパークの中で、もしそういうことの連携ができるのであれば、情報交換をしていくということで今、考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 前副村長中原さんとも、積極的に連携を図っていけるものと思います。またそうすることによって、今帰仁村の村益に担うものと思っています。今、名護東道路は、伊差川トンネルで一旦、終点となっていますが、北部地域でのやんばるの道路網の整備については、今帰仁村も一緒に毎年要請はしているということでありました。その中に名護東道路北進の案で、今帰仁村を通すというルート案は出しているのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後5時15分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後5時15分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 説明いたします。要望としては本部町、今帰仁村、国頭村、大宜味村、東村も含めて延伸ということで、今帰仁村ルートについては、まだどこをルートにするのか。まだ確定しておりません。今後の先ほど企画財政課長からありましたように来週、協議会を持ちますので、この辺から情報収集をして、どのルートがいいのかは確定していくかと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後5時16分)

- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時17分)
- 11番嘉陽 崇議員。
- 11番 嘉陽 崇 議員 村の観光振興、村の振興発展のためにも、この要請は必要だと思います。そこは村長としても積極的にテーマパークを開業するという事で、道も通しやすいんじゃないかと考えます。積極的に北部広域市町村会の中で、名護東道路北進、今帰仁村へのルート案、それを発言すべきじゃないかと考えるが、答弁を求めます。
- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時18分)
- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時18分)
- 喜屋武治樹村長。
- 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問にお答えいたします。
- 先ほど建設課長から答弁したとおりでありますけれども、この延伸ルートについては、今帰仁村、本部町を通してくれということは、これまでも要請しておりますし、また北部広域市町村会でも、これまでも内閣府等を含めて要請しておりますので、その延伸ルートについては、従来どおり要請をしていきたいと考えております。
- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時18分)
- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時19分)
- 喜屋武治樹村長。
- 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問にお答えいたします。
- 先ほど答弁した、課長も説明しましたが、引き続きこの延伸ルートについては、今帰仁村を通して本部町、そして将来は海洋博までということが想定されますけれども、それについては今後とも要請していきたいと、広域の中でもやっていきたいと考えています。
- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時19分)
- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時21分)
- 11番嘉陽 崇議員。
- 11番 嘉陽 崇 議員 ぜひ議会としても誘致決議ができるように全協でしっかりと話をして、村長が要請するように、今帰仁村にこの東北進ルートがくるように頑張っていきたいと思います。
- 次ですが、新聞で報じられている雇用についてですが、1,000名から1,500名、先ほどの答弁では「2,000名雇用する」ということは、これはこれに対して難題とあると思います。周辺から雇うといっても、これだけの人数を確保することは難しいと思います。考えられる対応策としては、本土から連れてくる。海外から連れてくる。じゃあその住むところはとするんだという問題もあると思います。そこで独身寮やアパートや貸家などを今帰仁村に誘致したり、村有地を利用してもらったり、そういったことを早い段階から計画の段階から考えていかなければならないと考えるが、村長の見解を伺います。
- 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。
- 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。
- 雇用の予定人数でございますが、まずはそのジャパンエンターテイメントによります説明の中では、地

域からその人材を募集したいとの説明を受けております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時23分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時23分)

11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 雇用対策についてなんですが、嵐山の南東側の麓には稲田小学校があります。雇用した方々の子供たちは稲田小学校へ来てほしい。稲田小学校区、呉我区、我部祖河区、内原へ住んでほしいという要望も地元からあると聞いています。雇用に対しての対策をどう考えているのか。一つの人口対策となると思います。従業員総数を1,000名から1,500名を見込んでいるということは、託児所を設置したりとかも考えられます。恐らくは企業が考えると思うが、そういった課題も話が煮詰まらないうちに、村も一緒になって考えていかないといけないと考えます。託児所のための窓口は県なのか、今帰仁村なのか、どちらかになるかと思いますが、どうであれ積極的に早い段階、設計ができる前に、想定をしていかなければならないと考えます。そういった話があったのか。なかったとしても、必然と出てくる課題であると思いますので、早い段階から想定していく考えはないか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

まだその事業者としては、これから設計などにかかわってくる段階だと考えられますが、まだその今の計画の段階では1,500名とおっしゃっていますけれども、実際にやる場合は、雇用が何名になるのかというものを、また変更といいますか。変わってくるものだと思いますので、それを今の段階で雇用者のためのという施設設備について、村がどうのこうのという段階ではないというふうに考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 積極的に早い段階から、積極的に「誘致だよ」「誘致するよ」という姿勢を見せて、企業側とも話をしないと、こういった話もできませんので、ぜひ話ができるように考えていってもらいたいと思います。

今帰仁村が積極的に考えていかなければならない課題として、法人税の問題があると思います。2年後にはゴルフ利用税、1,500万円が入ってこなくなるが、固定資産税はもちろん先ほども答弁もらいましたように、今帰仁村へ落ちると考えるが、本社をどこに置くのか。給料をどこで計算するのかで、法人税を納める市町村が変わると思います。去る3月議会の住民課長の答弁では、法人税が落ちる条件として、今帰仁村に事務所または事業所があるということが条件になると説明されていましたが、名護市は「金融特区を準備して待っています」というラブコールもあったと聞いています。本社を名護市に、事業所は今帰仁村に置いた場合、法人税はどこの市町村に入るのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時27分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時28分)

仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 ご説明いたします。

法人税については、3月議会でも議員がおっしゃるように事業所あるいは事務所がある場合に、その市

町村に納めていただくということをご説明いたしました。

本社がある場合には、ちょっとこの辺の割合が今ちょっとご説明できる材料がないのですが、恐らく住所があるというところを基本に納めていただくようになるかと理解しております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時29分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時34分)

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時34分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時46分)

仲村美奈子住民課長。

○ 仲村美奈子 住民課長 ご説明いたします。

議員がおっしゃる法人税でございますが、市町村に納める法人税の中に、法人税割と均等割という 2 種類がございます。この均等割については、本社がある市町村、そして事業所、事務所がある市町村の両方に入るということでございます。

残る法人税割でございますが、その事務所あるいは本社にいる従業員の数で案分をされるということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 ただいまの答弁で大体理解できました。案分でどちらにも落ちるということで理解しました。

こういった法人税を落としていかなければ、やはり地域の住民にも理解は得られにくいと思います。こういった問題に対して、どうしたら今帰仁村へもっと多くの法人税が落ちる仕組みになるのかも十分に考えていただきたいと思います。今帰仁村は負担が大きいだけではだめだと思います。負担が大きいだけでは困りますよ。排水は今帰仁村へ水道は今帰仁村からの利用、土地のほとんどは今帰仁村側を利用する。交通量の増加、道路整備の負担であったり、2年後にはゴルフ利用税もなくなってしまいます。

最低でもこれにかわるだけのお金が落ちて、経済効果が生まれないといけないと思うので、村もうんと収入について研究して、会社側とも調整していかないといけないと考えるが、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

まだ企業からの具体的な計画の説明といいますか。概要の説明はありましたが、今後具体的な説明になってくるかと思うので、その際は、その税であったり、雇用形態であったり、要望すべきものは要望していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 5 時49分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 5 時50分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

先ほどから説明しているとおりなんです、まだ施設の計画であったり、雇用の予定人数もそうなんです、まだ概要としてしか説明を受けておりませんので、具体的な説明になれば、また課題も明確

になってくるかと思いますので、そのあたりは整備が調整の中になってきましたら、村からの要望であったり、そういったものは具体的に提案していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 今、現在テーマパーク、プロジェクトを行っている株式会社ジャパンエンターテイメントであります。那覇市内に本社を構えているが、今帰仁村へ会社を移転することを話し合っているのか。そうすることによって、村にとっても密に連携を図っていけるものとするが、業者側とそういう話はあったのか。なかったとしても、村から提案をして、今帰仁村へ移ってきませんかということを提案したほうがよいと考えるが、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について、説明いたします。

本社の移転であったり、そういった話題になった経緯はございません。ただ今、先ほどから説明していますが、具体的ではなくて、概要的な説明しか受けておりませんので、この計画が具体的になってきた段階で、いろんな村としてできるものの提案というか、要望をしていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 どういう仕組みが今帰仁村にとってベストなのか。一方で企業もビジネスであります。いかに税金が適切な形で、負担した分は、その負担した市町村へ落ちるように考えていかなければ、企業側は考えていかなければならないと思います。

収益が多く出れば、その分をまた再投資をしたり、落ちる金額もそこまでは期待できないかもしれませんが、企業側に十分な配慮をしてもらった上で、お互いがベストな落としどころを探さなければいけないと考えます。そこは慎重に考えて、しっかりとした対応をとっていただきます。終わります。

○ 座間味 薫 議長 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会します。

(散会時刻 午後5時53分)